



# 10M LAN PC Card CentreCOM® LA-PCM-TV2 ユーザーズマニュアル

# ユーザーズマニュアル

# CentreCOM<sup>®</sup> LA-PCM-T V2

Copyright 1997-98 アライドテレシス(株)

# 使用および取り扱い上の注意

# 安全のために必ずお守りください。

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ずお守りください。これらの事項が守られていない場合、感 電、怪我、火災、故障などの原因になります。



## 分解禁止

本製品のカバーを外したり分解したりしな いでください。感電や故障の原因となりま す。また、メディアケーブルも分解しない でください。



#### 稲妻危険

稲妻が発生しているとき、本製品やケーブ ルの設置などの作業を行わないでくださ い。落雷により、感電する恐れがありま す。

## 静電気注意

本製品・ケーブルは、静電気に敏感な部品 を使用しています。部品が静電破壊する恐 れがありますので、コネクターの接点部分 などに素手で触れないでください。

取り付け及び取り外し時の注意 コンピュータの PC カードスロットに本製 品を取り付ける作業は、必ずご使用のコン ピュータのマニュアルを参照の上正しく 行ってください。



# 次のような場所での使用や保管は

しないでください ・直射日光の当たる場所

- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所 (結露するような場所)
  - ・湿気の多い場所や、水などの液体がかか る場所
  - ・振動の激しい場所
  - ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷い た場所
  - (静電気障害の原因にもなります)
  - ・腐食性ガスの発生する場所
  - ・スピーカ付近などの強磁界



## 動作温度と湿度

本製品は温度 0 ~ 55 、湿度最大95 % (ただし、結露なきこと)の範囲内でご使 用ください。

## 異物を入れないでください



本製品の隙間から金属、液体などの異物を 入れないでください。本体内部に異物が入 ると火災、感電などの恐れがあります。

## 長期保管時は袋に入れて

本製品を長期にわたって保管する場合は、 コンピュータのPCカードスロットに入れ たままにしないで必ず袋に入れてくださ ι١,



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環 境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテ レビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こ すことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。



CentreCOM LA-PCM-T V2をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本製品は PCMCIA Release 2.1 / JEIDA Ver.4.2 に準拠した 10BASE-T 対応 Type II PC カード LAN アダプターです。

このマニュアルは本製品を正しくご利用いただくための手引きです。必要な ときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいま すようお願いいたします。



#### 内容物をご確認ください ――

本製品パッケージの内容は以下のとおりです。お買い上げの商品についてご 確認いただき、万一不足するものがございましたらお手数ですがお買い求め の販売代理店までご連絡ください。

LA-PCM-T V2 カード本体 (永久保証対象)

(付属品)
 メディアケーブル
 お客様インフォメーション登録カード
 ユーザーズマニュアル
 永久保証書
 ドライバーディスク
 その他添付紙がある場合もあります

ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライド テレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または 全部を複製することを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更す ることがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1997-98 アライドテレシス株式会社

#### 商標について

CentreCOM、CentreNET はアライドテレシス株式会社の登録商標です。 Windows、Windows NT、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。 その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商 標または登録商標です。

## マニュアルバージョン

1997年8月	Rev.A ( Ver. 1.0 pl. 0 )	1st release
1998年2月3日	Rev.B ( Ver. 1.1 pl. 0 )	記述訂正と画面修正、
		PC98-NX の記載追加

このマニュアルは、CentreCOM LA-PCM-T V2 (以下、「本製品」と表記)の使用方法について説明するものです。このマニュアルは以下のような構成になっています。



呼ばれています。

巻末に付録として以下の2章を設けています。必要に応じてお読みください。



# 表記について

AT <b>互換機</b>	DOS/V 搭載機種
PC-98	NEC PC-98 シリーズノートパソコン
Version 950	Windows95 Ver.4.00.950
Version A	Windows95 Ver.4.00.950a
Version B	Windows95 Ver.4.00.950 B
	このバージョンは Version B・OSR2 (= OEM Service Release 2)・
	Type B などの呼称が存在しますが、本書では "Version B" に統一しま
	す。

ご	主意	V
商	漂について	
マ	ニュアルバーシ	ブョンv
本	マニュアルの棒	毒成 vi
付	録	vii
表	記について	vii
Ke	yword Index	索引xii
<b>第</b> 1部	概要	
1	特長	
2	使用環境	
	2.1 対応日	1ンピュータ機種1-3
	2.2 付属	・ライバー1-3
3	各部の名称 …	
	3.1 外観図	3
	3.2 各部の	)説明1-5
4	製品裏面のラ	ベルについて1-6
<b>第</b> 2部	ハードウェフ	<b>アの設定</b>
1	メディアケー	ブルの接続
	1.1 メディ	<sup>,</sup> アケーブルの装着2-2
	1.2 メディ	<sup>,</sup> アケーブルを取り外す2-2
	2.2 取りタ	۶-3 L
2.	PCカードス	コットへの取り付け・取り外し2-3
	2.1 PC力	ードスロットへの取り付け2-3
3	活線挿抜につ	いて (重要)2-4
	3.1 ご注意	<u>5</u>
	3.2 活線排	i抜1‐カードの挿入(Windows95)2-5
	3.3 活線排	「抜2-カードの取り外し(Windows95)2-6
4	ネットワーク	に接続する
	4.1 接続手	=順2-7
	4.2 リング	'の確認2-8
	4.3 通信な	「できない場合~ネットワークの確認2-8

viii

<b>第</b> 3部	Windows95 Version 950/A	3-1
1	準備と確認	3-2
2	PCMCIA コントローラの有効化	3-3
3	ドライバーのインストール	3-6
4	インストールの確認とアダプターの設定	
	4.1 デバイスマネージャによる確認	
	4.2 PC カード(PCMCIA)による確認	
	4.3 リソースの確認	
	4.4 ネットワークの設定	
5	ドライバーの削除と再インストール	
	5.1 ドライバーの削除	
	5.2 再インストール	
6	トラブルシューティング	
	6.1 正常にインストールできない	
	6.2 PCMCIA コントローラが正しく表示されない	
	6.3 リソース値重複の回避	3-18
<b>第</b> 4部	Windows95 Version B	
1	準備と確認	4-2
2	PCMCIA コントローラの有効化	4-3
3	ドライバーのインストール	4-6
4	インストールの確認とアダプターの設定	
	4.1 デバイスマネージャによる確認	
	4.2 PC カード(PCMCIA)による確認	
	4.3 リソースの確認	
	4.4 ネットワークの設定	
5	ドライバーの削除と再インストール	
	5.1 ドライバーの削除	
	5.2 再インストール	
6	トラブルシューティング	
	6.1 正常にインストールできない	
	6.2 アイコンに「×」マークが付いている	
	6.3 PCMCIA コントローラが正しく表示されない	
	6.4 リソース値重複の回避	

<b>第</b> 5部	Windows NT Ver. 3.51 5-1
1	準備と確認5-2
2	ドライバーのインストール5-3
	2.1 準備5-3
	2.2 リソースの確認5-4
	2.2.1 概要
	2.2.2 リソースの値5-4
	2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方法
3	ドライバーのインストール5-7
4	インストール後
	4.1 リソース値の確認5-17
	4.2 本製品を使用しないとき5-18
5	ドライバーの削除と再インストール5-19
	5.1 ドライバーの削除5-19
	5.2 再インストール5-20
<b>第</b> 6部	Windows NT Ver. 4.0
<b>第</b> 6 <b>部</b> 1	Windows NT Ver. 4.0
<b>第</b> 6部 1 2	Windows NT Ver. 4.0
<b>第</b> 6 <b>部</b> 1 2	Windows NT Ver. 4.0
<b>第</b> 6 <b>部</b> 1 2	Windows NT Ver. 4.0       6-1         準備と確認       6-2         ドライバーのインストール       6-3         2.1       準備         6-3       6-3         6-4       6-4
<b>第</b> 6 <b>部</b> 1 2	Windows NT Ver. 4.0       6-1         準備と確認       6-2         ドライバーのインストール       6-3         2.1       準備         6-3       6-4         2.2       リソースの確認         6-4       6-4
<b>第</b> 6 <b>部</b> 1 2	Windows NT Ver. 4.0       6-1         準備と確認       6-2         ドライバーのインストール       6-3         2.1       準備         6-3       6-3         2.2       リソースの確認         6-4       6-4         2.2.1       概要         6-4       6-4         2.2.2       リソースの値
<b>第</b> 6 <b>部</b> 1 2	Windows NT Ver. 4.0       6-1         準備と確認       6-2         ドライバーのインストール       6-3         2.1       準備         6-3       6-3         2.2       リソースの確認         6-4       6-4         2.2.1       概要         6-4       6-4         2.2.3       Windows NT 診断プログラムの使用方法
<b>第</b> 6 <b>部</b> 1 2 3	Windows NT Ver. 4.0       6-1         準備と確認       6-2         ドライバーのインストール       6-3         2.1 準備       6-3         2.2 リソースの確認       6-4         2.2.1 概要       6-4         2.2.2 リソースの値       6-4         2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方法       6-5         ドライバーのインストール       6-7
第6部 1 2 3 4	Windows NT Ver. 4.0
第6部 1 2 3 4	Windows NT Ver. 4.0       6-1         準備と確認       6-2         ドライバーのインストール       6-3         2.1 準備       6-3         2.2 リソースの確認       6-4         2.2.1 概要       6-4         2.2.1 概要       6-4         2.2.2 リソースの値       6-4         2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方法       6-5         ドライバーのインストール       6-7         インストール後       6-16         4.1 リソース値の確認       6-16
第6部 1 2 3 4	Windows NT Ver. 4.0       6-1         準備と確認       6-2         ドライバーのインストール       6-3         2.1 準備       6-3         2.2 リソースの確認       6-4         2.2.1 概要       6-4         2.2.2 リソースの確認       6-4         2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方法       6-5         ドライバーのインストール       6-7         インストール後       6-16         4.1 リソース値の確認       6-16         4.2 本製品を使用しないとき       6-17
第6部 1 2 3 4 5	Windows NT Ver. 4.0       6-1         準備と確認       6-2         ドライバーのインストール       6-3         2.1 準備       6-3         2.2 リソースの確認       6-4         2.2.1 概要       6-4         2.2.1 概要       6-4         2.2.2 リソースの確認       6-4         2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方法       6-5         ドライバーのインストール       6-7         インストール後       6-16         4.1 リソース値の確認       6-16         4.2 本製品を使用しないとき       6-17         ドライバーの削除と再インストール       6-18
第6部 1 2 3 4 5	Windows NT Ver. 4.0       6-1         準備と確認       6-2         ドライバーのインストール       6-3         2.1 準備       6-3         2.2 リソースの確認       6-4         2.2.1 概要       6-4         2.2.2 リソースの確認       6-4         2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方法       6-5         ドライバーのインストール       6-7         インストール後       6-16         4.1 リソース値の確認       6-16         4.2 本製品を使用しないとき       6-17         ドライバーの削除と再インストール       6-18         5.1 ドライバーの削除       6-18

Α.	/	4-1
1	規格仕様	A-2
2	10BASE-T インターフェース	A-3
3	MAC アドレス	A-4
証	・ユーザーサポート	S-1
1	保証	S-2
2	ユーザーサポート	S-2
3	調査依頼書のご記入にあたって	S-3
4	最新ドライバーソフトウェアの入手方法	S-5
調	查依頼書(CentreCOM LA-PCM-T V2 1/2)	S-6
調	查依頼書(CentreCOM LA-PCM-T V2 2/2)	S-7
	A.1 2 3 <b>証</b> 1 2 3 4 調調	A

### 記号

¥windows¥options¥cabs 3-8 10BASE-T 1-2, A-2, A-3

#### A

ACT LED 1-4, 1-5 ACTIVITY 1-5 AT 互換機 vii, 1-2, 1-3, 3-2

#### С

CardBus 1-2, 1-5, 4-3, 4-10, 4-20 CONFIG.SYS 3-5

#### D

DHCP リレー 6-13 Direct Enabler 5-12 DNS 5-15, 6-13 DOS/V 1-3

#### I

I/O Base Address 5-6, 6-6, 6-16 I/Oベースアドレス 3-12, 3-18, 4-12, 4-21, 5-4, 6-4, 6-11, 6-16, A-2 IRQ 3-12, 3-18, 4-12, 4-21, 5-4, 5-5, 5-6, 5-11, 5-12, 6-4, 6-5, 6-11, 6-16, A-2

#### J

JEIDA Ver. 4.2 1-2, 1-3, A-2 L LED 1-2, 1-5 LINK 1-5 LNK LED 1-4, 1-5, 2-8

#### Μ

MACアドレス 1-6, A-4 MACアドレスラベル 1-6, A-4

#### 0

OSR2 3-1, 3-2, 4-1

#### Ρ

PC Card Standard 1-2, 1-3 PC-98 vii, 1-2, 1-3, 3-2 PCIC Base Address 5-12 PCMCIA 1-2, 1-3, 2-5, 2-8, 3-3, 3-4, 3-5, 3-10, 3-12, 3-17 PCMCIA Rel. 2.1 1-2, 1-3, A-2 PCMCIA Slot 5-12 PCMCIA カード 3-3 PCMCIA コントローラ 2-8, 3-3, 3-10, 3-17, 4-3, 4-4, 4-10, 4-20, 5-12 PCカード 1-2, 1-3, 1-5, 2-3, 2-5, 2-6, 3-3, 3-4, 3-5, 3-6, 3-12, 3-14, 3-15, 3-16, 3-17, 4-3, 4-4, 4-5, 4-6, 4-12, 4-14, 4-15, 4-17, 4-18, 4-20, 5-3, 5-12, 5-18, 6-3, 6-17, A-2 PCカード(PCMCIA)ウィザード 3-4, 4-4 PCカードスロット 1-2, 1-3, 1-5, 2-3, 2-5, 3-6, 3-14, 3-15, 3-16, 3-17, 4-6, 4-14, 4-17, 4-18, 4-20, 6-3, 6-17 Plug & Play 2-5, 3-18, 4-21, 5-2, 5-4, 6-2, 6-4

#### R

RJ-45 1-2, 1-4, 1-5, A-3 RJ-45 モジュラージャック 1-4, 1-5

#### Т

TCP/IP 5-9, 5-14, 5-15, 5-19, 6-10, 6-12, 6-18, A-4 Type II 1-2, A-2 W Windows NT 診断プログラム 5-4, 5-5, 6-4, 6-5 Windows3.1 3-5

Windows95 vi, 3-2, 4-9, S-6 Windows95 Version B 3-2 WINS 6-13

#### 1

インタラプト 3-12, 3-18, 4-12, 4-21, 6-5, 6-11, A-2

#### Т

永久保証書 1-6, S-2

## オ

お客さまインフォメーション登録カード 1-6, S-2

### カ

カードI/Oコネクター 1-4, 1-5, 2-2 活線挿抜 5-2, 6-2

#### ケ

ケーブルI/Oコネクター 1-4, 1-5, 2-2 警告ラベル 1-6

#### 

コントロールパネル S-4

#### シ

システムレポート S-4

シリアルナンバー 1-6, A-4, S-3, S-6 シリアルナンバーラベル 1-6

#### セ

全二重. Full duplex を参照

#### ソ

ソケットサービス 3-5

#### タ

対応コンピュータ機種 1-3

#### チ

調查依頼書 S-6

#### テ

デバイスマネージャ 3-10, 3-11, 3-12, 3-14, 3-15, 3-17, 3-18, 4-10, 4-12, 4-14, 4-15, 4-18, 4-19, 4-20, 4-21, S-4

### ト

ドライバー 3-2, 4-2 ドライバーディスク 3-2, 3-6, 3-9, 4-2, 4-6, 4-9, 5-3, 5-10, 6-3, 6-9

### ネ

ネットワークケーブル 1-5, 2-7, 2-8

### Л

ハードウェア互換性リスト 5-2,6-2 パケット 1-5 ハブ 2-7,2-8 半二重. Half duplex *を参照* 

### メ

メディアケーブル 1-4, 1-5, 2-2, 2-7, 3-2, 4-2, 6-3, A-2

# IJ

リソース 3-18, 4-21, S-4 リンク 1-5, 2-8

第1部

# 概要

第1部では、本製品の特長、使用環境、各部の名称について 説明します。

# 1 特長

本製品は以下の特長をもつ PC カード型ネットワークアダプターです。

PCMCIA Rel. 2.1 / JEIDA Ver. 4.2 に対応 Type II PCカードスロットをもつAT互換機/NEC PC98-NX、NEC PC-9800/ PC-9821 に対応 10M Ethernet (10BASE-T)に対応 接続アダプターが付属 (RJ-45型 10BASE-T コネクター(メス)を提供) 動作状態を表示する 2 個の LED が付属(カード本体)

# 2 使用環境

#### 2.1 対応コンピュータ機種

本製品は PCMCIA Rel. 2.1 / JEIDA Ver. 4.2 **対応** PC カードスロットを持つ以下のコン ピュータ機種に対応しています。

AT 互換機(DOS/V 機) NEC PC98-NX シリーズ NEC PC-9800/PC-9821 シリーズ

## 2.2 **付属ドライバー**

本製品には以下のドライバーが付属しています。

- AT 互換機(DOS/V 機) PC98-NX シリーズ Windows95 用 NDIS ドライバー Windows NT (Ver. 3.51 以上) NDIS ドライバー
- NEC PC-9800/PC-9821 シリーズ Windows95 用 NDIS ドライバー Windows NT (Ver. 3.51 以上) NDIS ドライバー

# 3 各部の名称

3.1 外観図

LA-PCM-T V2 カード本体





図 1-1 LA-PCM-T V2 **外観図** 

#### 3.2 各部の説明

- 1. LA-PCM-T V2 **カード本体** コンピュータのPCカードスロットに挿入し、ネットワークアダプターの機能を提 供します。
  - 1-1. **カード** I/O **コネクター** 「2-4 ケーブル I/O コネクター」を接続します。
- メディアケーブル 本製品とネットワークを接続します。
  - 2-1. ACT(ACTIVITY) LED(左)
     パケットの送受信が行われると黄色で点灯します。
  - 2-2. LNK(LINK) LED(右)
     対向機器と正常にリンクが確立されると緑色で点灯します。
  - 2-3. RJ-45 **モジュラージャック** ネットワークケーブルのモジュラープラグを差し込みます。 ネットワークケーブルについては第2部をご覧ください。
  - 2-4. ケーブル I/O コネクター

「1-1.カードI/Oコネクター」に接続します。<u>白矢印のある面を上にして</u>接続して ください。上下の面を逆にすると装着できないようになっていますので、挿してみ て抵抗を感じるようでしたら、絶対に無理に押し込まないでください。破損の原因 になります。



# 4 製品裏面のラベルについて

本製品の裏面にはラベルが3枚貼付されています。 各ラベルの内容は以下の通りです。



図1-2 本製品裏面

1 警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくために重要な情報が記されています。必ずお 読みください。

2 MAC **アドレスラベル** 

各カードに固有のMACアドレスが記入されています。MACアドレスについては付録A「3 MACアドレス」をご覧ください。

3 シリアルナンバーラベル

本製品のシリアルナンバー(製造番号)が記入されています。パッケージ(外箱)の側面に貼付されているラベルや同梱のシリアルナンバーラベル(3枚)と同じものです。

(同梱されているシリアルナンバーラベルは「お客さまインフォメーション 登録カード」と「永久保証書」に貼付してください。残る1枚は予備です。)

# **第**2部

# ハードウェアの設定

第2部では、本製品をコンピュータに取り付け、イーサネットに接続するまでの手順を紹介します。

# 1 メディアケーブルの接続

#### 1.1 メディアケーブルの装着

下図のように、メディアケーブルのケーブルI/Oコネクターを<u>白矢印のある面を上に</u>して、コネクター<u>両側にある爪を押さえながら</u>カードI/Oコネクターに「カチッ」と音が するまで挿し込んでください。挿し込んだらメディアケーブルを軽く引っ張ってみて抜 けないことを確認してください。



図 2.1 メディアケーブルの装着

## 1.2 メディアケーブルを取り外す

メディアケーブルをカード本体から取り外すときはケーブル<u>I/Oコネクター両側の</u> 爪の部分を親指と人差し指で摘みながら引いてください。



ケーブルI/Oコネクターに無理な力をかけて引き抜くことは絶対におやめく ださい。カード・コネクター双方が破損する恐れがあります。

## 2. PC カードスロットへの取り付け・取り外し

ここでは、本製品のPCカードスロットへの取り付けおよび取り外しの手順 を、コンピュータの<u>電源を入れないで行う</u>という前提で説明します。コン ピュータの電源を入れたままでカードの抜き差しをする場合は「3.活線挿抜 について」を先にお読みください(ただし、Windows NTでは活線挿抜はで きません)。

2

#### 2.1 PC カードスロットへの取り付け

- "LA-PCM-T V2"の文字が印刷された面を上にして<sup>†</sup>コンピュータの PC カードス ロットに挿入してください。PC カード取り付けについての詳細は、ご使用のコン ピュータのマニュアルをご覧ください。
- (2) 本製品をカチッと手応えがあるまで押し込んでください。

#### 2.2 取り外し

コンピュータの取り外しボタンを押すと、本製品はPCカードスロットから外れ、手で 取り出せる状態になります。

メディアケーブルを引っ張ってカードを引き抜くことは絶対におやめくだ さい。本製品・ケーブルの故障の原因となります。

2-3

## 3 活線挿抜について(重要)

#### 3.1 ご注意

本製品の抜き挿しをコンピュータの電源が入ったままで行う(活線挿抜する)場合は以下の点に注意して行ってください。特に以下の点にご注意ください。これらの点をお守 りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただき ます。

ただし、活線挿抜できるのはWindows95をご使用の場合のみです。Windows NTをご 使用の場合は絶対に活線挿抜でなく、コンピュータの電源を切った状態で本製品の抜き 挿しを行ってください。



(Windows95 の場合)必ず本書に記載した手順にしたがってください。 活線挿抜を行うにはいくつかの注意点があり、注意を怠るとコンピュータの ハングアップや、Windows95ファイルの破壊を招くおそれがあります。本 製品の抜き挿しを行う際は3.2~3.3項を熟読の上、慎重に行ってください。



#### パケットの送受信が行われていないことをご確認ください。

パケットの送信または受信が行われている最中にカードを抜くことは絶対に おやめください。コンピュータに悪影響を及ぼすおそれがあります。 パケットの送受信は ACT LED(カード本体に装備)の点灯で判断できます。

## 3.2 活線挿抜1-カードの挿入(Windows95)

コンピュータの電源が入った状態で本製品をPC カードスロットに挿入すると Windows95 は Plug & Play 機能により本製品を検出し、「ソケットの状態」(「コント ロールパネル」 「PC カード (PCMCIA)」 「ソケットの状態」) に「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」の名前を表示します<sup>†</sup>。

PC カード (PCMCIA)のプロパティ 🛛 <b>? 🗙</b>
ソケットの状態 設定
PC カートを取りはずすには、一覧から選んで [終了] を押 してください。 ①
Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card - ソクット 1
(空) - Y5ット 2
終7©
☑ タスウバー上にコントロールを表示する(円)
▶ 終了前にカートが取りはずされたら、警告を表示する( <u>D</u> )
OK キャンセル 更新(A)

画面 3.1 ソケットの状態

+ 1 初めて本製品を挿入したとき(=本製品用のドライバーのインストールが行われて いない場合)はPCカードウィザードの起動、またはドライバーのインストールが開 始されます。詳細は第3部および第4部をご覧ください。

### 3.3 活線挿抜2-カードの取り外し(Windows95)

コンピュータの電源が入っているときに本製品を抜くと実行中のアプリケーションの動 作に支障をきたすおそれがありますので、安全のために<u>必ず以下の操作を行ってから</u> カードを抜いてください。

1. タスクバー (スクリーン右下)の PC カードアイコンをクリックします。



2. 「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card の中止」バーが表示されたらバーを クリックしてください。

	17.40
Allied Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card の中止 🛛 🕅	17.42
画面 3.3	

3. 「OK」をクリックしてください。

Allied	Telesis LA-PCM_V2 Ethernet Card	$\times$
٩	このデバイスは安全に取りはずせます。	
	ОК	



4. 「2.2 取り外し」にしたがって、カードを取り外します。

# 4 ネットワークに接続する

#### 4.1 接続手順

ここでは例として、本製品をハブと接続する場合について説明します(下図参照)。

- ネットワークケーブルのモジュラープラグをメディアケーブルのモジュラージャックに、カチッと音がするまで挿し込んでください<sup>†1</sup>。
- (2) ネットワークケーブルを引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
- (3) ネットワークケーブルのもう一方のモジュラープラグをハブのモジュラージャック (PORT と表記されている場合もあります)に差し込んでください。



図4.1 ネットワークへの接続

<sup>†1</sup> モジュラープラグを挿入または外すときにはプラグの爪を親指で押さえながら行い ます。

#### 4.2 リンクの確認

最後に、ハブとコンピュータの両方に電源を投入し、本製品のLNK LEDとハブのLINK OK LEDの両方が点灯することを確認します。点灯が確認できれば、ネットワークへの 接続は正常に完了しています。

どちらか一方しか点灯していない、または両方が消灯している場合は本製品とハブは正 しくリンクしていません。その場合はネットワークケーブルの断線やケーブルの配線ミ ス、使用ケーブルの誤りなどが考えられますので、次の4.3項を参照の上、処置を施し てください。



#### ご使用の状態によっては大変熱くなります。

本製品は内部に高度に集積した構造を持っていますので、ご使用中に高熱を 発することがありますが、異常ではありませんので安心してご使用ください。

#### 4.3 通信ができない場合~ネットワークの確認

PCMCIAコントローラや本製品のドライバーが正しくインストールされているにも関わ らず通信ができない場合は次のような原因が考えられます。(ドライバーのインストール については第3部以降をご覧ください。)

- 1. 使用するプロトコル、クライアントなどの設定が適切でありません。 「コントロールパネル」の「ネットワーク」で正しく設定してください。
- 2. ケーブルがきちんと接続されていません。

ご使用の10BASE-Tケーブルがしっかり接続されていないか、断線しているか、 適切なものを使用していません。ケーブル類の接続をし直す、ケーブル類を交換し てみる、ハブのポートを入れ替えてみるなどを行ってみてください。

ハブと本製品が物理的に正しく接続されていれば、ハブと本製品のリンクランプ (LNK)が両方とも点灯します。また、ネットワークのパケットを受信したとき、 本製品のACT ランプが点灯します。

リンクランプを持たないハブもあります。また、リンクランプが別の名前で呼ばれ ていることがあります。例えば、当社製ハブ「MR820TR」ではリンクの表示は 「PORT OK」となっています。

2

# 第3部

# Windows95 Version 950/A

第3部では、本製品のドライバーをWindows95 Version950 および VersionA 上にインストールする手順を説明します。

ご使用の Windows95 のバージョンをご確認ください 初めに、ご使用の Windows95 のバージョンを「システム」(コントロールパネル) で確認します。「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」 「システム」 「情報」と進み、「システム:」の番号が "4.00.950" であれば Version950、 "4.00.950a" であれば Version A です。

" 4.00.950 B" の場合は Version B( OSR2 )です。 第4部「Windows95 VersionB」 へお進みください。



## 1 準備と確認

インストールを始める前に、以下のものをご用意ください。

- LA-PCM-T V2 カード本体 他のハードウェア(メディアケーブル等)はインストールの段階では特に必要では ありません。
- 2. コンピュータ (Windows95 Version950/A インストール済み)
- 3. Windows95  $O \nabla A \nabla P = \nabla A \nabla A$
- LA-PCM-T V2 ドライバーディスク(本製品付属)
   ドライバーディスクはAT 互換機/NEC PC98-NX 用、PC-9800/PC-9821 用の2枚
   が用意されています。ご使用のコンピュータに合わせてお使いください。



**重要:**ご使用のコンピュータのOSがプリインストール版であり、バックアッ プCD-ROMをお持ちでない場合は、<u>必ずフロッピーディスクにバックアッ</u> プを取った後でドライバーのインストールを開始してください。



ここに挙げた手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が若干異なる ことがあります。(本書に掲載した画面は AT 互換機のものです。PC-9800 シリーズの場合はディスクドライブ名が異なります。)

## 2 PCMCIA コントローラの有効化

ドライバーをインストールする前に、以下の手順を実行してください。この手続きにより、Windows95がPCカードを自動認識するための機能が有効化されます<sup>†</sup>。この時点では、まだ本製品をコンピュータに取り付けないでください。

- (1) コンピュータに電源を投入し、Windows95を起動します。
- (2)「スタート」をクリックし、「設定(S)」から「コントロールパネル(C)」を 選択します。



画面 2.1 コントロールパネルの選択 (デスクトップ)

(3) 「PC カード(PCMCIA)」アイコンをダブルクリックします。



画面 2.2 「PC カード (PCMCIA)」アイコン

+ この手順はPCカードを初めて使用する際に1回だけ実行します。本製品を使用する たびに実行する必要はありません。 3

(4) 「PCカード(PCMCIA)ウィザード」が起動します<sup>↑</sup>。
 「PCカード(PCMCIA)ウィザード」は、2つの質問を行います。通常は、2つの質問のそれぞれに対して「いいえ(N)」を選択し、「次へ>」をクリックしてください。



画面 2.3 PC カード (PCMCIA) ウィザード 1



**画面**2.4 PC カード (PCMCIA) ウィザード2

3-4

+ 以前にこの手順を実行したことがあればこのパネルは表示されず、「PCカード (PCMCIA)のプロパティ」(4.2項参照)が表示されます。また、プリインストール 版 Windows95をご使用の場合も、同様に「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」が 表示されることがあります。この場合は「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」を 閉じ、「3 ドライバーのインストール」に進んでください。 (5)「PCカードウィザード」が終了すると、次のダイアログが表示されますので、「完了」をクリックしてください。

(注)Windows3.1の環境からWindows95にアップグレードしたコンピュータの場合は、この作業によってCONFIG.SYSに記述された既存の16ビットカードサービス、ソケットサービスはコメントアウトされます。



**画面** 2.5 PC カード (PCMCIA) ウィザードの完了

(6) 次のダイアログが表示されますので、「はい(Y)」をクリックしてください。
 Windows95 が終了したら、コンピュータの電源を切ります。

ステム	設定の変更	
٩	この PC カードの設 を終了し、エルビュー	定を続けるには、Windows の電源を切ってください。
	コンピュータを終了しま	Eすか?
	(\$LVY)	いいえN

画面 2.6 「システム設定の変更」ダイアログ

以上でPCカードを使用する準備は整いました。引き続き、「3 ドライバーのイン ストール」へお進みください。 3

# 3 ドライバーのインストール

- 1. コンピュータの電源を入れ、Windows95を起動します。
- 2. コンピュータの PC カードスロットに本製品を挿入します。

挿入の手順については「第2部 ハードウェアの設定」およびご使用のコン ピュータのマニュアルを参照してください。

 Windows95は本製品を自動的に検出し、「新しいハードウェア」ダイアログ に「Allied Telesis. K.K.-CentreCOM LA-PCM\_V2」の名前を表示します。「ハー ドウェアの製造元が提供するドライバ(M)」を選択し、「OK」をクリックして ください。



画面 3.1 「新しいハードウェア」

 「フロッピーディスクからインストール」が表示されます。フロッピーディス クドライブにドライバーディスクを入れ"A:¥windows.95"(または "A:¥")と 入力し、「OK」をクリックします。(ここでは、フロッピーディスクドライブを A:と仮定します。)

フロッピー ディスクからインストール	X
デバ*(Aの製造元が配布する()Aト-ルデ*(A) を指定したドライアに入れて、[OK] を押 してください。 配布ファイルのコビー元: A:¥windows.95] ▼	OK キャンセル 参照(B)

画面 3.2 パスの入力

4'-1. ご使用のコンピュータに初めてネットワークアダプターをインストールする 場合は下のダイアログが表示されます。内容を読んだ上で「OK」をクリック してください。





4'-2. 続いて下のダイアログが表示されます<sup>+1</sup>。ネットワーク管理者に確認の上、 コンピュータ名、ワークグループ名<sup>+2</sup>およびコンピュータの説明(省略可) を入力してください。 3

<b>》</b> 開	5-6、 <b>南</b> 阜石南南部33	第2月間から りしてください。
18.1-148	nani	
7-99'8-7'	101	
te's-boile	0	

画面 3.4 ネットワークの設定

+ 1 このダイアログの内容をインストール後に変更する場合は「ネットワーク」 (コントロールパネル)を起動し、「ユーザー情報」タブを選択してください。

3-7

+ 2 コンピュータ名およびワークグループ名の入力には15字以下の半角文字を使 用します。詳細はWindows95のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧く ださい。
ドライバーおよび必要なWindows95ファイルがハードディスクにコピーされます。コピーの途中でWindows95のマスターディスクが要求されますので(画面3.5参照)ご使用のWindows95の形態に応じて以下のようにパスを入力してください。

#### プリインストール版 Windows95 の場合

この場合はWindows95ファイルが既にハードディスクにコピーされていま す。画面上ではディスクを入れるように要求されますが、<u>そのまま「OK」を</u> <u>クリックしてダイアログを閉じ</u>、「C:¥windows¥options¥cabs」<sup>†</sup>を指定して ください。(ここではWindows95の起動ディスクパーティションをC:と仮 定します。)

CD-ROM **の場合** 

CD-ROM をドライブに挿入し、「E:¥WIN95」を入力してください。 (ここでは、CD-ROM ドライブをE:と仮定します。)

#### フロッピーディスクの場合

指示された番号のディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「ファイ ルのコピー元(C): 」で「A:¥」を入力してください。(ここではフロッピー ディスクドライブをA:と仮定します。)

ディスク	の挿入 ×
0	Windows 95 Disk 2' ラベルの付いたディスクを挿 入して [OK] を押してください。
	06
	UN
ファイ	イルのコピー
⊐t*-	TT:
mine bt°-	lows 90 Disk 3 先:
 読み	取っています
Г	1%
	<u>∓</u> €)⊉∥

**画面**3.5(上) ディスクの要求画面 3.6(下)ファイルのコピー(フロッピーディスクの場合)

<sup>†</sup> 機種によっては ¥windows¥options¥cabs と異なる場所に保存されていることもあ ります。その場合はコンピュータのマニュアルをご覧になるか、検索コマンドによ り拡張子「cab」のファイルが存在するディレクトリを探し、そのディレクトリパス を指定してください。

(重要)場合によっては画面3.7()のようなダイアログが表示されることがあります。このとき、ファイル "lapcmv2.SYS" は Windows95のマスターディスク上のファイルとして説明されていますが、実際にはドライバーディスクの中に収められていますので、ディレクトリとして「A:¥windows.95」(または「A:¥」)を入力してください。(ここでは、フロッピーディスクドライブをA:と仮定します。)



画面 3.7 lapcmv2.SYS の要求(例)

 「システム設定の変更」が表示されます<sup>†</sup>。「今すぐ再起動しますか?」という問いに対して、「はい(Y)」をクリックし、(フロッピーディスクを取り出して) コンピュータを再起動します。

システム	設定の変更	$\times$
٢	新ししいハート'ウェアの コンビュータを再起動	)設定を完了するには、 加てください。
	今すぐ再起動しま	こすか?
	(\$L)(Y)	いいえ(N)

#### 画面 3.8 システム設定の変更

8. 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「4 インストール の確認とアダプターの設定」にお進みください。

† ご使用のコンピュータに既に他のネットワークアダプターのドライバーをインストールしたことがある場合、このダイアログは表示されません。この場合も必ず再 起動して本製品のドライバーを有効化してください。

# 4 インストールの確認とアダプターの設定

再起動したら、初めにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに 必要な設定を行います。

### 4.1 デバイスマネージャによる確認

初めに、「システム」(コントロールパネル)をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」 を表示します。インストールが正常に行われていれば「PCMCIA ソケット」<sup>†</sup>の下にご 使用のコンピュータにインストールされているPCMCIAコントローラの名前が表示され ます。



また「ネットワークアダプタ」の下に「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」が 表示されます。



#### 画面 4.2 ネットワークアダプタ

これらのアイコンに「×」「?」「!」などのマークがついていたり、あるいはアイコン が「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」に ある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは「6 トラブルシューティング」 をご覧ください。 次に、デバイスマネージャで「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」(画面 4.2 参照)を選択(反転表示)し、「プロパティ」「情報」と進みます。「デバイスの状態」 で「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。

	Alled 1	Talasis LA-P	OM V2 Ether	net Card		
田山						
Ŧ'^'()	の種類	2017-07	979			
製造力	E:	Albed Tel	azis, K.K.			
ahul	2 40H -91	0. 940	40			
1 770	のぞうジェオ	T-MI-ANIN	11.00			
	07 51,48	Their Marph	1004.74		)	
						_
E.2.04	(スの使用-					-
2	のデバイスを	使用する設定	初和外外	りつ印を付け	てできい	
10	Depine 10	onlineation	0504040			1
			-16414122			

画面 4.3 デバイスの状態

### 4.2 PC **カード (**PCMCIA ) による確認

次に、「PCカード(PCMCIA)」(コントロールパネル)をダブルクリックし、「ソケットの状態」を表示します。該当するソケット<sup>†</sup>に「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」が表示されていることをご確認ください。

n+otte [Ba			
1	小技術川はデオ のしたの	ロコエー発わる違ん	で【終了】 衣押
Aller Tel	esis LA-PCM,V	2 Ethernet Card - 3	Ø#1
1 (D - 77	7¥ 2		
#76)			
図 \$25%-上には 図 終了前にカード	パロールを表示す が取りまずされ	る(8) たら、警告を表示す	540
		4-244	WHEN)

画面 4.4 ソケットの状態

### 4.3 **リソースの確認**

本製品が使用するI/O ベースアドレス、インタラプト(IRQ)などのリソースは、 Windows95 によって自動的に設定されます。これらの値を確認するには「デバイスマ ネージャ」「ネットワークアダプタ」「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」 「プロパティ」「リソース」と進んでください。

# 92-X		
Alled To	Asis LA-RON/V2 Ethernet Gold	
n-xtillting:		
57-2010年間	82	-
V0 \$1-17	1.5 0280 - 089F	
		-
10年前最佳的原则	基本11年間 Nair	
該定以定例:		
he waare		
融合学会疗术们为		
BRGL.		-
		-

画面 4.5 リソースの確認

+ ソケット番号の表記はコンピュータの機種により異なり、「ソケット0」「ソケット
 1」と表記される場合もあります。

### 4.4 ネットワークの設定

次に、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動し、使用するプロトコル、クライア ントなどの設定を行います。詳細はネットワーク管理者にご確認ください。



画面 4.6 ネットワークの設定

# 5 ドライバーの削除と再インストール

本ドライバーのインストールを一旦完了するとその内容は保存され、次回からはPCカー ドスロットに本製品を挿入するだけで本製品を使用できます。

再びインストールを行う場合にはドライバーを一旦削除してから行います。<u>ドライバーのインストールに失敗した場合も、</u>この手順にしたがって間違ってインストールされた ドライバーをまず削除したのち、再びインストール作業を行います。

### 5.1 **ドライバーの削除**

 (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」を選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。



**画面** 5.1 ドライバーの削除

(2) 下のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。



画面 5.2 デバイス削除の確認

システムのプロバティ ? X @ M1001:85702 C HREE-ATC 14:5-1 ٠ PEMELA 177+ + 28+P-P 4- **311** 9791.693.8409-48306-9 11/1/12 1875 PW/12 ÷ 2 anasawa + - - + 03 HH7 . 78/74/0 2010 2000 ORM \$0.5 Acts

画面 5.3 削除後のデバイスマネージャ

- (4) 「システムのプロパティ」の「閉じる」ボタンをクリックしてください。
- (5) コンピュータの電源を落とし、PCカードスロットから本製品を抜き出します。

### 5.2 **再インストール**

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 本製品をPCカードスロットに挿入し、再びコンピュータの電源を入れます。
- (2) Windows95 が起動し、「新しいハードウェア」ダイアログが表示されます。
- (3) 「3 ドライバーのインストール」の手順3から再開します。

(3) 「ネットワークアダプタ」のアイコンが消えていることをご確認ください。

# 6 トラブルシューティング

この項ではドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説 明します。

(注)以下の手順は、本製品を PC カードスロットに取り付けた状態で行ってください。

### 6.1 正常にインストールできない

4.1 項にしたがってインストールの確認を行った際に「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」アイコンの表示が以下のようになっている場合は、ドライバーのイン ストールに失敗していますので、ドライバーを一旦削除し、再インストールします。

「ネットワークアダプタ」の項目がない<sup>†</sup> 「その他のデバイス」「不明なデバイス」の下にアイコンが表示されている<sup>†</sup> アイコンに「!」「?」「×」マークがある 「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」が2つ以上ある

### (手順)

- (1) 不正にインストールされた「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」ア イコンを選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。
- (2)「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「全ての設定から削除
   (A)」を選択し、「OK」をクリックしてください。
- (3) 「5.1 ドライバーの削除」の手順3に進みます。

ドライバーインストールの作業中に行われる netapi.dll などの Windows95 関連の ファイルのインストールをキャンセルしてしまった。 以前に本製品のドライバーのインストールと削除を行ったことがあり、「5.2 再イ ンストール」手順(2)の「新しいハードウェア」ダイアログで「ドライバをイン ストールしない(D)」を選択した。

### 6.2 PCMCIA コントローラが正しく表示されない

本製品のドライバーは、PCMCIA コントローラと協調して動作します。そのため、 PCMCIA コントローラが正しくインストールされていない状況では、本製品のドライ バーは動作することができません。

4.1 項にしたがってインストールの確認を行った際に「PCMCIA ソケット」の下に表示 される PCMCIA コントローラのアイコンに「?」、「×」のマークが付いている場合 は、次の手順を実行してみてください<sup>†1</sup>。

- (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進みます。
- (2)「PCMCIAソケット」の下にあるPCMCIAコントローラを選択し、「削除(E)」をクリックしてください。
- (3)「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「全ての設定から削除
   (A)」を選択し、「OK」をクリックしてください。
- (4)「デバイスマネージャ」から「PCMCIA ソケット」のアイコンが消えている ことを確認します。
- (5) Windows95を終了し、コンピュータの電源を落とした後、本製品をPCカー ドスロットから取り外します。
- (6) 再びコンピュータに電源を投入します。「コントロールパネル」ウィンドウを 表示し、「PCカード(PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。
- (7) 「ハードウェア」アイコン(コントロールパネル)をダブルクリックしてください。「ハードウェアウィザード」が起動します。「次へ>」をクリックしてください。(「ハードウェアウィザード」の実行には数分の時間がかかります。)
- (8)「はい(通常はこちらを選んでください)(Y)」を選択し、続く2つの質問に 対して「次へ>」をクリックして進みます。最後に「完了」をクリックして ハードウェアウィザードを終了してください。
- (9) 続いて、「PCカード(PCMCIA)ウィザード」が起動します。「2 PCMCIAコ ントローラの有効化」の手順(3)から実行してください。

<sup>+ 1</sup> ソケットサービス / カードサービスに関連するデバイスの一部(例: PCMCIA Card Services)に 常に「?」マークがつくものがありますがご使用には支障ありません。

### 6.3 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なお アイコンに「?」、「!」、「×」マークが付いている場合は、<u>他の拡張アダプターとリソー</u> スの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値を Windows95 に予め登録(「予約」と呼びます)し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス(本製品を含む)によって使用されないように設定しておくと、値の重複を回避できます。

#### リソース値を予約する手順

- Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値(インタラプト(IRQ) I/Oベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス(DMA))
   を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。
- (2)「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」「コン ピュータ」「コンピュータのプロパティ」パネル「リソースの予約」と 進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加」をクリックします。画面の指示にしたがって 予約するリソースの値を登録してください。

# 第4部

# Windows95 Version B

第4部では、本製品のドライバーをWindows95 VersionB上 にインストールする手順を説明します。

ご使用の Windows95 のバージョンをご確認ください

初めに、ご使用のWindows95のバージョンを「システム」(コントロールパネル) で確認します。「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」 「システム」 「情報」と進み、「システム:」の番号が " 4.00.950 B" であれば Version B で す。(Windows95 Version B は "OSR2"とも呼ばれています。) "4.00.950" であれば Version950、 "4.00.950a" であれば Version A です。この場 合は 第 3 部「Windows95 Version950/A」をご覧ください。



## 1 準備と確認

インストールを始める前に、以下のものをご用意ください。

- LA-PCM-T V2 カード本体 他のハードウェア(メディアケーブルなど)はインストールの段階では特に必要で はありません。
- 2. コンピュータ (Windows95 Version B 搭載)
- LA-PCM-T V2 ドライバーディスク(本製品付属)
   ドライバーディスクはAT 互換機/NEC PC98-NX 用、PC-9800/PC-9821 用の2枚
   が用意されています。ご使用のコンピュータに合わせてお使いください。
- Windows95のバックアップディスク(CD-ROM またはフロッピーディスク) (Windows95を再インストールしたコンピュータをご使用の場合)



**重要:**ご使用のコンピュータのOSのバックアップCD-ROMをお持ちでない 場合は、<u>必ずフロッピーディスクにバックアップを取った後で</u>ドライバーの インストールを開始してください。



ここに挙げた手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が若干異なる ことがあります。(本書に掲載した画面はAT互換機のものです。PC-9800 シリーズの場合はディスクドライブ名などが異なります。)

## 2 PCMCIA コントローラの有効化

ドライバーをインストールする前に、以下の手順を実行してください<sup>+1</sup>。この手続きに より、Windows95がPCカードを自動認識するための機能が有効化されます<sup>+2</sup>。この時 点では、まだ本製品をコンピュータに取り付けないでください。

- (1) コンピュータに電源を投入し、Windows95を起動します。
- (2)「スタート」をクリックし、「設定(S)」から「コントロールパネル(C)」を 選択します。



画面 2.1 コントロールパネルの選択 (デスクトップ)

(3) 「PC カード(PCMCIA)」アイコンをダブルクリックします。



画面 2.2 「PC カード ( PCMCIA )」アイコン

+ 1 ご使用のコンピュータが CardBus (32bit バスコントローラ)対応のものである場合 は本項の手順とは異なる手続きを必要とするモデルも多く存在しますので、必ずコ ンピュータのマニュアルでご確認ください。

4-3

+2この手順はPCカードを初めて使用する際に1回だけ実行します。

 (4) 「PCカード(PCMCIA)ウィザード」が起動します<sup>+</sup>。
 「PCカードウィザード」は、2つの質問を行います。通常は、2つの質問の それぞれに対して「いいえ(N)」を選択し、「次へ>」をクリックしてくだ さい。



**画面**2.3 PC カード (PCMCIA) ウィザード 1



**画面**2.4 PC カード (PCMCIA) ウィザード2

4-4

†

以前にこの手順を実行したことがあればこのパネルは表示されず、「PCカード (PCMCIA)のプロパティ」が表示されます(4.2項参照)。また、コンピュータの機 種によっては既にPCMCIAコントローラの有効化を終えた状態で出荷されているモ デルもあり、この場合も同様に「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」が表示され ます。この場合は「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」を閉じ、「3 ドライバー のインストール」に進んでください。 (5)「PCカードウィザード」が完了すると、次のダイアログが表示されますので、「完了」をクリックしてください。



画面 2.5 PC カード (PCMCIA) ウィザードの完了

(6) 次のダイアログが表示されますので、「はい(Y)」をクリックしてください。
 Windows95 が終了したら、コンピュータの電源を切ります。

Ų	この PC カードの設 を終了し、エセシーク	定を続ける(こは、Windows の電源を切ってください。 キキか9
	(はい)の	しいえ

画面 2.6 「システム設定の変更」ダイアログ

以上でPCカードを使用する準備は整いました。引き続き、「3 ドライバーのイン ストール」へお進みください。

# 3 ドライバーのインストール

- 1. コンピュータの電源を入れ、Windows95を起動します。
- 2. コンピュータの PC カードスロットに本製品を挿入します。

挿入の手順については「第2部 ハードウェアの設定」およびご使用のコン ピュータのマニュアルを参照してください。

 Windows95は本製品を自動的に検出し、「デバイスドライバウィザード」を 起動します。LA-PCM-T V2ドライバーディスクをディスクドライブに挿入 し、「次へ>」をクリックしてください。ドライバーの自動検索が始まります。

10000	このり/デージーと 260 (23) - AD できます。
	Alled Telesis, KK-Gerwe00M LA-POM/V2
L'AL	着いたかうくが加ったようつけ、キャワークたよびパクーキャナルを構 出します。
2.	このドルリエンド構成のなど~ ディウルだは cD-HOM がある場合 は存んしていたみし
	更新ないたトライバを自動的に加出することをお加めします。 した つきかけすると自動物品が成まります。

画面 3.1 デバイスドライバウィザード

4. 次のダイアログが表示されたら「完了」をクリックしてください<sup>+1</sup>。



画面 3.2

4-6

+ 1 自動検索を使わず、「場所の指定(O)…」ボタンを使ってディレクトリを直接指定する こともできます。この場合はディレクトリ名として「¥windows.95」を指定してくだ さい。

4'-1. ご使用のコンピュータに初めてネットワークアダプターをインストールする 場合は下のダイアログが表示されます。内容を読んだ上で「OK」をクリック してください。



画面	3.3
----	-----

4'-2. 続いて下のダイアログが表示されます<sup>+1</sup>。ネットワーク管理者に確認の上、 コンピュータ名、ワークグループ名<sup>+2</sup>およびコンピュータの説明(省略可) を入力してください。

5'8-7': 101	

画面 3.4 ネットワークの設定

+ 1 このダイアログの内容をインストール後に変更する場合は「ネットワーク」(コント ロールパネル)を起動し、「ユーザー情報」タブを選択してください。

+ 2 コンピュータ名およびワークグループ名の入力には15字以下の半角文字を使用しま す。詳細は Windows95 のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。 4

5. ドライバーおよび必要なWindows95ファイルがハードディスクにコピーされます。



**画面** 3.5 Windows95 ファイルのコピー

#### (参考)

ご使用のOSが再インストールされたものである場合は必要な Windows95ファイルをOSのバックアップディスクからコピーしま す。ディスクを要求するダイアログが表示されたら、以下のようにパ スを指定してください。

### CD-ROM **の場合**

CD-ROM をドライブに挿入し、「E:¥WIN95」を入力してください。 (ここでは、CD-ROM ドライブを E:と仮定します。)

### フロッピーディスクの場合

指示された番号のディスクをディスクドライブに入れ、「A:¥」を入力 してください。 (ここではフロッピーディスクドライブをA:と仮定します。) 5'. (重要)場合によっては途中で次のダイアログが表示されることがあります。 ファイル "lapcmv2.SYS" は Windows95のマスターディスク上のファイル として説明されていますが、実際にはLA-PCM-T V2ドライバーディスクの 中に収められています。フロッピーディスクドライブにドライバーディスク が入っていることを確認の上、パス "A:¥windows.95"(または"A:¥")を指定 し、「OK」をクリックしてください。



画面 3.6 LAPCMV2.SYS の要求(例)

 「システム設定の変更」が表示されます<sup>+1</sup>。「今すぐ再起動しますか?」という問いに対して、「はい(Y)」をクリックし、(フロッピーディスクを取り出して) コンピュータを再起動します。

システム	設定の変更 ×
٢	新しいハードウェアの設定を完了するには、 コンビュータを再起動してください。
	今すぐ再起動しますか? (はいY) いいえ(N)

画面 3.7 システム設定の変更

7. 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「4 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。

+1ご使用のコンピュータに既に他のネットワークアダプターのドライバーをインス トールしたことがある場合、このダイアログは表示されません。この場合も<u>必ず再</u> 起動して本製品のドライバーを有効化してください。

# 4 インストールの確認とアダプターの設定

再起動したら、初めにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに 必要な設定を行います。

### 4.1 デバイスマネージャによる確認

初めに、「システム」(コントロールパネル)をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」 を表示します。インストールが正常に行われていれば「PCMCIA ソケット」<sup>†</sup>の下にご 使用のコンピュータにインストールされているPCMCIAコントローラの名前が表示され ます。



また「ネットワークアダプタ」の下に「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」が 表示されます。



#### 画面 4.2 ネットワークアダプタ

これらのアイコンに「?」「!」などのマークがついていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストールに失敗ます。詳しくは「6 トラブルシューティング」をご覧ください。

+ PCMCIA コントローラの名称はご使用のコンピュータにより異なります。また、ご使用のコン ピュータがCardBus対応モデルであり、かつPCMCIA コントローラが16bit/32bit 共用のタイプで ある場合、PCMCIA コントローラは同じ名称が2列以上表示されます。

次に、「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」を選択(反転表示)し、「プロパ ティ」「情報」「デバイスの状態」と進みます。「このデバイスは正常に動作してい ます。」と表示されていることをご確認ください。

to see 15	7-2.]	0.885.5810	
비가 시네.	Televie LA-PCM_V2 Ele	eret Card	
Pが42xの種類: 製造元:	Rolp-97973		
**************************************	の「情報なし		
2097/4A13	正常に動作しています。		
- 12/12の使用-			
D 584-F	27環境で注意不可にす	5	
The share of the	1-9 JTLONG CORDLES	P	
P #<<0			
P #470			

画面 4.3 デバイスの状態

(参考)「ドライバ」タブを選択し、ドライバーに関する情報を表示した場合、「このデバイスにはドライバファイルが必要でないか、または組み込まれていません。」というメッセージが出ることがありますが、問題ありません。

Allied Tel	esis LA-PCM_V2 Ether ? 🗙
1888 19967	37-2.
調算 べち	el Talasia LA-ROM,V2 Ethernet Card
教徒元	1848120
日付	6-04-1997
$\pi^*\!$	1848-tau
Enter.	ロス、ドライベ ファイルが 必要では、の、または38み込まれ ・
3	Print Print Print Print
	OK 4x286

画面 4.4 「ドライバ」タブ

### 4.2 PC **カード (**PCMCIA ) による確認

次に、「PC カード (PCMCIA)」(コントロールパネル)をダブルクリックします。「ソ ケットの状態」を表示すると該当するソケット<sup>+</sup>に「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」が表示されていることを確認します。

0 7-4	(PCMCIA)	のプロパティ	?
クォの状態	102		-31 - 23 
•	CD-PERMITT	はま、一覧から運んで	0471 #
•	- 75-10		
Al a	Telesis LA-PON,V	2 Ethernet Card - 19	48
-	-1		
019.00			
1 323/1-1	リニンパロールを表示す	90D	
N N THIS	7-17782.1397513	たら、聖吉を進示すら	20
	OK	1005	Hity.

画面 4.5 ソケットの状態

### 4.3 **リソースの確認**

本製品が使用するI/O ベースアドレス、インタラプト(IRQ)などのリソースは、 Windows95 によって自動的に設定されます。これらの値を確認するには「デバイスマ ネージャ」「ネットワークアダプタ」「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」 「プロパティ」「リソース」と進んでください。

18 17940 32	2	17 - 18 1920
Near Near	App DA-POMJY2 Enemet C	ert.
17-22.種類	192	
V0 #-+ 1	1.7 8260 - 8279	
		-
時間の復計時间)	8+259 acce	+
目的な思い	E seeso	
開会するおんどれ		
時名ない		
		Ŧ

画面 4.6 リソースの確認

+ ソケット番号の表記はコンピュータの機種により異なり、「ソケット0」「ソケット1」と表記 される場合もあります。

# 4.4 **ネットワークの設定**

次に、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動し、使用するプロトコル、クライア ントなどの設定を行います。詳細はネットワーク管理者にご確認ください。

Morosett \$377	-5 551758 A 554754			-
Alied Televis L	A-PCM_V2	Ethernet Ca	rel	
FIPS/SPX 互換7	11/16			-
TOP/IP				-
istera).		4 FP-31	107	LATER .
優先的にログわける				
Microsoft 2:17-9	99 <del>(</del> 754			
7+04273240	内有它	1		
18.98				
187.00				

画面 4.7 ネットワークの設定

# 5 ドライバーの削除と再インストール

本ドライバーのインストールを一旦完了するとその内容は保存されますので、次回から は PC カードスロットに本製品を挿入するだけで本製品を使用できます。

再びインストールを行う場合にはドライバーを一旦削除してから行います。<u>ドライバーのインストールに失敗した場合も、</u>この手順にしたがって間違ってインストールされた ドライバーをまず削除し、再びインストール作業を行います。

### 5.1 **ドライバーの削除**

 (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」を選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。



画面 5.1 ドライバーの削除

(2) 下のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。



画面 5.2 デバイス削除の確認

- ? × ステムのプロパティ 情報 ナガイスネネージャ ハートウェア保険 メフォーマルス @ 種類的に表示(1) O HHERICETTO 4 B ++++ ٠ 🛧 🔳 3771. 97647. 🗄 🍟 ecelorivia 🛧 🛄 9'0374'7979 + -+++++(2) Dis-9 🐳 🔁 10 K'- 9'423 10 ID-9 \* 71/19/8/ XIMO MERICO (CIREN 618020 OK 4+2t6
- (3) 「ネットワークアダプタ」のアイコンが消えていることをご確認ください。

#### 画面 5.3 削除後のデバイスマネージャ

- (4) 「システムのプロパティ」の「閉じる」ボタンをクリックしてください。
- (5) タスクバー(画面右下)のPCカードアイコンをダブルクリックします。



画面 5.4 PC カードアイコン

「ソケットの状態」タブが表示されます。本製品が挿入されていたソケットの 表記が「-」(画面では「-ソケット2」)となっていることを確認してください。

ウオの状態 1	135		
\$ 5	たけまいます	には、一覧から違ん	きに利う
	7771		
- 19-	+2		
30.040			
□ \$2\$0"-上	におけなールを表示す	2010	
N 19 CHILL	-n gragen a rien	CO. TREATION	petty
	OE	4024%	THE A

画面 5.5 デバイス削除後の「ソケットの状態」

(6) 該当するソケット(画面では「- ソケット2」と表記)を選択(反転表示)させ ると「終了」ボタンが有効(アクティブ)になりますので、クリックします。

PC		のプロパティ	?	X
ソケットの状態 設定	[]			_
PC ታ ንሃማቢ	-ドを取りはずす!! ,てください。(T)	コま、一覧から選ん"	で[終了] を	
🔷 🗐 - Yh	9×1			
- Y59k 2				
1879 K				
□ タスクバー上にコ	ンねールを表示する	5( <u>H</u> )		
▶ ● 終了前にかート	が取りはずされた	とら、警告を表示する	)( <u>D</u> )	
	ОК	キャンセル	更新(4	2

画面 5.6 デバイス削除後の「ソケットの状態」(2)

(7) 下のダイアログが表示されます。「OK」をクリックします。

–	۲2 ×
<b>i</b>	このデバイスは安全に取りはずせます。
	ОК

画面 5.7

4-16

+ 本文は「削除」実行後に初めて「ソケットの状態」タブを開く場合について記述しています。「削除」実行前に「ソケットの状態」画面を開いておいた場合は、最初に表示されたデバイス名 "Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card" が「削除」実行後も変わらず表示されます。この場合も必ず手順(6)以降の手続きを実行してください。 (本文中「-ソケット1」を「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」に置き換えてください。)

- (8) ソケットから本製品を抜きます。
- (9) 「ソケットの状態」で、スロットに「空」と表記されていることを確認してく ださい。

c カ-	(PCN	(AION	のプロ	パティ	?
与小の状	102				
1	別た際	BII147	at.−%t	いろ催んで	(約7)支
•	5 - 19井1	5			
0	9 - 79 <del>1</del> 9 2				
117	57 ().				
D \$23M	-Ficitybe	ルを表示する	999		
E NTI	121-12/402	Support	56. 警告者	派示于包	0
		OK	412	th.	Rha)

画面 5.8

- 4
- (10) タスクバー上で PC カードアイコンが消えていることもご確認ください。



**画面** 5.9 **タスクパー** 

(11) 以上で削除の手続きは終了です。コンピュータの電源を落とし、PCカード スロットから本製品を抜き出してください。

### 5.2 **再インストール**

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 本製品をPCカードスロットに挿入し、再びコンピュータの電源を入れます。
- (2) Windows95 が起動し、「デバイスドライバウィザード」が起動します。
- (3) 「3 ドライバーのインストール」の手順3から再開します。

# 6 トラブルシューティング

この項ではドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。

(注)以下の手順は、本製品を PC カードスロットに取り付けた状態で行ってください。

### 6.1 正常にインストールできない

4.1 項にしたがってインストールの確認を行った際に「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」アイコンの表示が以下のようになっている場合は、ドライバーのイン ストールに失敗していますので、ドライバーを一旦削除し、再インストールします。

「ネットワークアダプタ」の項目がない†1

「その他のデバイス」「不明なデバイス」の下にアイコンが表示されている<sup>†1</sup> アイコンに「!」「?」マーク<sup>†2</sup>がある 「Allied Telesis LA-PCM V2 Ethernet Card」が2つ以上ある

### (手順)

- (1) 不正にインストールされた「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」ア イコンを選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。
- (2)「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「全ての設定から削除
   (A)」を選択し、「OK」をクリックしてください。
- (3) 「5.1 ドライバーの削除」の手順3に進みます。



+ 2「×」マークがある場合はインストールの失敗ではなく、デバイスマネージャでデバ イスを「使用不可」に設定しています。詳細は 6.2 項をご覧ください。

### 6.2 アイコンに「×」マークが付いている

デバイスマネージャで「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」アイコンに「×」マークがある場合は「デバイスの使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態を切り替えると本製品を使用できるようになります。

- 「Allied Telesis LA-PCM\_V2 Ethernet Card」を選択(反転表示)し、「プロパティ」をクリックし、「情報」タブを表示します。
- 2. 「このハードウェア環境で使用不可にする」のチェックを外してください。

Alled Telesis LA-POM_V2 Ethernet Card W4(2の種類 キットワークブタフタ 総設定: Alled Telesis, K.K. トーヤシスのがージン: 健特なし デがイクの状態 このゲがイメは正常に能が知っています。 デがイクの使用 □ このパードシスが環境で使用不可にする 図 すべてのパードシェが環境で使用不可にする	48 [F54A'] 52-X]	
*2012の種類 キボワークアダクな 動産: Alfed Telexis、K.K. トートウェアのパージルン: 値相知し デバイスの状態 このデバイスは正常に動作しています。 デバイスの使用 □ このパード 2月環境で使用不可にする 図 すべてのパードウェア環境で使用不可にする 図 すべてのパードウェア環境で使用する	Alled Telezis LA-PON_V2 Ethernet	Card
<ul> <li>         は通え: Alied Talaxis, K.K.         トウップのパージッン: 値相知し、         ジバイムの状態         このサンバイスは正常に動作しています。      </li> <li>         ジバイムの使用         □ このパージック理論で使用不可にする         ☑ すべてのパードウェア環境で使用不可にする         ☑ すべてのパードウェア環境で使用する     </li> </ul>	パメイスの種類 キットワークアタフタ	
デバイスの状態 このデバイスは正常に動作しています。 デバイスの使用 □ このハート 2.5厚晴で使用不可にする 図 すべてのハートウェ7厚晴で使用する	製造元: Allied Telesis, K.K. ケードウェアのパージョン: 情報知道し	
このサンドイスは正常に動作しています。 デンドイスの使用 □ このハート なが厚晴で使用不可にする 図 すべてのハートウェガ厚晴で使用する	デバイスの状態	
-?'ハ'イ2の使用 □ このハー> 2の厚晴で使用不可にする 図 すべてのハートウェ用豪晴で使用する	このデバイスは正常に動作しています。	
<ul> <li>デバイムの使用</li> <li>このハートウェア環境で使用不可にする</li> <li>すべてのハートウェア環境で使用する</li> </ul>		
□ この小子 Parl準備で使用イモルニチョ 図 すべてのハーナウェア準備で使用する。	- デバイスの使用	
E PS CONTRACTORY CONTRACTORY	□ このハードフェハ環境で1世界小・「にする」	
	R. F. Concertation Cronits C.	
OK frit		

画面 6.1 デバイスの使用許可の設定

### 6.3 PCMCIA コントローラが正しく表示されない

本製品のドライバーは、PCMCIA コントローラと協調して動作します。そのため、 PCMCIAコントローラが正しくインストールされていない<sup>†1</sup>状況では、本製品のドライ バーは動作することができません<sup>†2</sup>。

4.1 項にしたがってインストールの確認を行った際に「PCMCIA ソケット」の下に表示 される PCMCIA コントローラのアイコンに「?」、「!」のマークが付いている場合は、次 の手順を実行してみてください。

- (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進みます。
- (2) 「PCMCIAソケット」の下にあるPCMCIAコントローラを選択し、「削除(E)」
   をクリックしてください。
- (3)「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「全ての設定から削除
   (A)」を選択し、「OK」をクリックしてください。
- (4)「デバイスマネージャ」から「PCMCIA ソケット」のアイコンが消えている ことを確認します。
- (5) Windows95を終了し、コンピュータの電源を落とした後、本製品をPCカー ドスロットから取り外します。
- (6) 再びコンピュータに電源を投入します。「コントロールパネル」ウィンドウを 表示し、「PCカード(PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。
- (7) 「ハードウェア」アイコン(コントロールパネル)をダブルクリックしてください。「ハードウェアウィザード」が起動します。「次へ>」をクリックしてください。(「ハードウェアウィザード」の実行には数分の時間がかかります。)
- (8)「はい(通常はこちらを選んでください)(Y)」を選択し、続く2つの質問に 対して「次へ>」をクリックして進みます。最後に「完了」をクリックして ハードウェアウィザードを終了してください。
- (9) 続いて、「PCカード(PCMCIA)ウィザード」が起動します。「2 PCMCIAコントローラの有効化」の手順(3)から実行してください。

<sup>+ 1</sup> ソケットサービス / カードサービスに関連するデバイスの一部(例: PCMCIA Card Services)に 常に「?」マークがつくものがありますがご使用には支障ありません。

<sup>4-20</sup> + 2 ご使用のコンピュータがCardBus対応のモデルである場合、使用するPCカードに応じて2種類 (16bit/32bit)のPCMCIAコントローラを切り替えなければならないものがありますのでご注意 ください。詳細はご使用のコンピュータのマニュアルでご確認ください。

### 6.4 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なお アイコンに「?」、「!」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値 が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値を Windows95 に予め登録(「予約」と呼びます)し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス(本製品を含む)によって使用されないようにしておくと、値の重複を回避できます。

#### リソース値を予約する手順

- Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値(インタラプト(IRQ) I/Oベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス(DMA))
   を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。
- (2)「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」「コン ピュータ」「コンピュータのプロパティ」パネル「リソースの予約」と 進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加」をクリックします。画面の指示にしたがって 予約するリソースの値を登録してください。

# 第5部

# Windows NT Ver. 3.51

第5部では、本製品のドライバーをWindows NT Ver. 3.51上 にインストールする手順を説明します。

ドライバーは以下のディレクトリに格納されています。

PC-9800/PC-9821......¥windows.nt¥351 AT 互換機 /PC98-NX .....¥windows.nt¥351

## 1 準備と確認

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。 各操作・設定の手順については Windows NT のマニュアル・ヘルプをご覧ください。



Windows NTのハードウェア互換性リスト (Windows NTパッケージに同梱されています)に挙げられていないコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任においてご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



NEC PC-9800、PC-9821、PC98-NX にインストールされた Windows NT のもとで本製品をご使用になる場合、NECによって保証されていないインス トール環境でのご使用は、お客様の責任において行ってください。それらの 環境で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせてい ただきますので予めご了承ください。



本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使用するコンピュータ やネットワーク環境によって、手順や表示画面が異なることがあります。予 めご了承ください。



本製品のインストールをWindows NTのインストールと同時に行うことは避け てください。必ず、Windows NTのインストールを完了したあとで、本製品の インストールを行ってください。Windows NTはPlug & Playをサポートして いないため、Windows NTと本製品のインストールを同時に行うと、Windows NTのインストール中に本製品が使用するハードウェアリソースが他のデバイ スと重複するおそれがあり、重複の回避に手間取ることがあります。



Windows NTでは活線挿抜(コンピュータの電源を入れたままでカードの抜き挿しを行うこと)はできません。本製品の挿抜を行う際には必ずコン ピュータの電源がOFFになっていることをご確認ください。誤って活線挿抜 を行った場合に起こった障害についてはユーザーサポートの対象外とさせて いただきますので予めご了承ください。

本マニュアルでは Windows NT Ver. 3.51 Workstation を用いて説明します

## 2 ドライバーのインストール

それでは、インストールを始めます。ここでは、「ネットワークアダプター用ドライバー を含むネットワーク環境が全くインストールされていない」場合の<sup>+1</sup>インストール手順 について説明します。また、Windows NTが要求する問い合わせに対して、基本的には デフォルトで答えると仮定しています。

#### 2.1 準備

用意するもの

- 1. LA-PCM-T V2 カード本体・メディアケーブル等
- 2. コンピュータ (Windows NT 3.51 インストール済み)
- 3. Windows NT のマスターディスク(CD-ROM またはフロッピーディスク)
- 4. LA-PCM-T V2 ドライバーディスク<sup>†2</sup>(本製品付属)

#### インストールの前に

- コンピュータの電源をオフにし、本製品をコンピュータのPCカードスロットに挿入します<sup>+3</sup>。
- 2. 本製品をネットワークに接続します<sup>+3</sup>。

- † 1「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない
   (D)」を選択した場合に相当します。
- + 2 ドライバーディスクは「AT 互換機・PC98-NX 用」「PC-9800・PC-9821 用」の 2 種類 5-3 が用意されていますので、ご使用のコンピュータに合ったものをご使用ください。 また、ドライバーは常に最新のものをご使用ください。最新のドライバーの入手方 法は「付録 S」の「最新ドライバーソフトウェアの入手方法」をご覧ください。
- +3詳細は本マニュアル「第2部ハードウェアの設置」をご覧ください。
#### 2.2 リソースの確認

#### 2.2.1 概要

Windows NT は Plug & Play をサポートしていないため、本製品が使用するリソース の値をドライバーのインストール時に設定する必要があります。そのため、ドライバー をインストールする前にリソースの空き状況を調べる必要があります<sup>+1</sup>。

本製品のドライバーに組み込まれているリソースの工場出荷時の値(2.2.2項参照)が、 他のデバイスによって既に使用されている場合は重複を避けるため本製品の使用する値 を変更します。(設定はドライバーのインストール時に表示される設定ダイアログで行い ます。)そのため、ドライバーをインストールする前に値が重複していないかを確認し、 重複している場合は空いている値を調べてください。

リソースの状況を調べるには、コンピュータメーカーで予め定めてあるデバイスについてはコンピュータのマニュアルをご覧ください。また、本製品を含む拡張デバイスが追加されているコンピュータについては「Windows NT診断プログラム」(2.2.3項参照)を使用するとそれらの拡張デバイスを含む、リソースの割り当て状況を確認できます。

#### 2.2.2 **リソースの値**

工場出荷時の値および設定可能な値の範囲は以下の通りです。

1/0 ベースアドレス

初期設定値 0x300

他の設定可能値 0x200、0x220、0x240、0x260、0x280、0x2A0、0x2C0、0x2E0、 0x300、0x320、0x340、0x360、0x380、0x3A0、0x3C0、0x3E0

IRQ (AT 互換機 /PC98-NX) 初期設定値 10(A) 他の設定可能値 3, 4, 5, 7, 9, 10(A), 11(B), 15(F)

IRQ (PC-9800/PC-9821)初期設定値5他の設定可能値3, 5, 6, 10(A), 12(C)

†1コンピュータに予め組み込まれているデバイスの中には「Windows NT診断プログ ラム」上に表示されないものがありますので、必ずコンピュータのマニュアルと 「Windows NT診断プログラム」の2つを用いて確認を行ってください。

### 2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方法

注:ここではWindows NT Ver.3.51 Workstation 搭載のAT互換機を用いて説明します。

 「プログラムマネージャ」 「管理ツール」 「Windows NT 診断プログラム」と 進み、「Windows NT 診断プログラム」を起動します。



画面 2.1 Windows NT 診断プログラムの起動

2. 「IRQ/ポートの状態」を選択します。

OS バージョン( <u>0</u> )	デバイス(D)
ハードウェア()	[IRQ/ボートの状態(])
メモリ( <u>M</u> )	DMA/メモリ(点)
ドライバ(型	環境( <u>N</u> )
サービス( <u>§</u> )	ネットワーク( <u>K</u> )

**画面** 2.2 IRQ/ ポートの状態

3. 「割り込み / ポート」 画面が表示されます。 それぞれの値の空き状況を確認してく ださい。



画面 2.3 リソースの表示 (IRQ, I/O Base Address)

4. 次に、メモリの空き状況を調べます。手順2に戻り、「DMA/メモリ…」を選択し ます。下の画面が表示されます。

DMA/メモリ	
DMA.	
チャネル ボニ デバイス	
0.0 0.4 Peppy	
共有ディスポジション アクセス	
本正照 研想的テハイス 読み取り可 共有 特性的ドライバ 書き込み可	能能
メモリ	-
1784アドレス 長く アハイス 0x4000 0x0erce#Vident	_
0x8808080 8+08080 #De+ixe#Videx0	
	_
T COR	
225	

- 画面 2.4 リソースの表示 (メモリ)
- 5. Windows NT 診断プログラムを終了します。

## 3 ドライバーのインストール

1. 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。



画面 3.1 ネットワーク (コントロールパネル)

「直ちにネットワークを組み込みますか?」の問いに対して、「はい」をクリックしてください。

404	ネットワークの設定
0	Windows NT ネットワークが組み込まれていません。直ちに 組み込みますか? [ほい(ア)] いいえ(N) へんア(H)
	画面 3.2

 「Windows NT セットアップ」が起動します。Windows NT の CD-ROM をドラ イブに挿入し、Windows NTの配布ファイルへのフルパス(AT互換機/PC98-NX では「I386」、PC-9800/PC-9821では「PC98」となります)を入力します。(こ こでは、CD-ROM ドライブを F:と仮定します。)

P	Windows NT 配布ファイルへのフル バスを入力し てください。セットアップ フロッビー ディスク からファイルを組み込む場合は、ドライブ バス (A:¥1886 など) を入力してください。セットアッ プは適切なディスクを挿入するよう指示しま す。
	F:¥i386

† ネットワーク環境が既にインストールされている場合はこのダイアログは表示されず、 「ネットワークの設定」が起動します。この場合は手順(10)にお進みください。本製品のみ のインストールが始まります。

5

5-7

4. 「検出しない」をクリックしてください。



画面 3.4 ネットワークアダプタカードの検出

5. 「続行」をクリックしてください。

😑 📃 ネットワーク アダブタ カードの検出
ネットワーク カードが検出されませんでし た。使用するネットワークがリモート (電話回 線を介するものなど) の場合は、セットアップ は自動的に Microsoft リモート アクセス サー ビスを組み込みます。手動でネットワーク カ ードを組み込む場合は、[続行]ボタンをクリッ クしてください。リモート アクセス サービス を組み込む場合は、[リモート]ボタンをクリッ クしてください。
読行     リモート( <u>R</u> )     ヘルプ( <u>H</u> )

画面 3.5 ネットワークアダプタカードの検出

 「ネットワークアダプタの追加」ダイアログが表示されます。「ネットワークアダプ タカード(N):」リストボックスで最下行の「<なし>後でネットワークインター フェイスを選ぶ」を選択し、「続行」をクリックします。



画面 3.6

7. 「OK」をクリックします。





ネットワークで使用されているプロトコルをチェックして「続行」をクリックします。お客様のネットワークでどのようなプロトコルが使用されているかは、システム管理者にご相談ください。画面 3.8 はすべての項目をチェックした例です。



画面 3.8 プロトコルの選択

9. 手順8でTCP/IPを選択した場合はTCP/IPオプションに関する設定画面が表示されます。お客様の環境に合わせて適宜設定し、「続行」をクリックしてください。



画面 3.9 TCP/IP オプションの選択

10. 「ネットワークの設定」ダイアログが表示されます。「アダプタカードの追加(P)」 をクリックしてください。

通信には、10月世界ノを9 ジでアデナトドの活動ま 1まりフトウェアを活動し きは1種肉を進んでくだま	リッタしてくだ た(町570を205歳) てくだきい、適 い,
/ 	1
Y3431PIC48383L	OK .
7月77岁5十25番加亚)	117
編成(2)	In Dr B.,
東時山	和65-5度1
MIR(3)	147(8)
	127777554705562 12777755705565 12780268857(22 7777554705505)。 第15501 7777554705505。 第15501 前時後の 前日 15501

画面 3.10 アダプタカードの追加

 「ネットワークアダプタの追加」ダイアログが表示されます。「ネットワークアダプ タカード(N)」リストから最下行の「<その他>各メーカーのディスクが必要」を 選択し、「続行」をクリックします。



画面 3.11 ネットワークアダプタの追加

LA-PCM-T V2 ドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、パス「¥windows.nt¥351」を入力してください。(ここでは、フロッピーディスクドライプを A:と仮定します。)



画面 3.12 パスの入力

 13. 「CentreCOM LA-PCM V2 Adapter」がアクティブになっていることを確認して、 「OK」をクリックしてください。

ネットワ	-2727	ブタ ドライバを3	難択してください。	
-				
accilities	ON DATED	e vz Adapter		
L			20220 - D.2200-221	_



14. 続いて本製品の設定画面が表示されます(ご使用のパソコン機種により表示される ダイアログが異なります。AT互換機/PC98-NXの場合は左、PC-9800/PC-9821 の場合は右をご覧ください)。適切な設定値を選択し、「OK」ボタンをクリックし てください。

CentreCOM LA-PCM V2 LAN Card	5
IO Base Address : 300 💌	
DIRECT ENABLER Mapped Memory Base : d0000 €	CentreNET LA-POM V2 LAN Card
PCIC Base Address : 3E0	IOBaseAddress : 300 👤
PCMCIA Slot : Auto 重	Cancel HELP
OK Cancel HELP	

画面 3.14 LA-PCM-T V2 の設定(左: AT 互換機/PC98-NX、右: PC-9800/PC-9821)

1. IRQ, IOBaseAddress

これら2項目は他のデバイスと重複しない適切な数値を選択してください。

2. Direct Enabler<sup>+</sup>

AT 互換機 /PC98-NX をご使用の場合、「Direct Enabler」に関する3項目について設定します。基本的に、表示されているデフォルト値のままで変更は必要ありませんが、 本アダプターがうまく動作しないとき、下記の手順にしたがって設定を行ってください。

2-a. Mapped Memory Base

他のデバイスと重複しない適切な数値を選択してください。

2-b. PCIC Base Address

ホスト PCMCIA コントローラアドレスの値を指定します。デフォルト値は 3E0h です。一般的に、コンピュータのホスト PCMCIA コントローラアドレスの値は 3E0h (PCMCIA Release2.1 規格による推奨値)に設定されていますが、コン ピュータの機種によっては異なる値を使用しているものもありますので、必ずご使 用のコンピュータのマニュアルでご確認ください。

2-c. PCMCIA Slot

本製品を挿入している PC カードスロットの番号(1または2)を指定します。デ フォルトは Auto(自動選択)ですが、<u>できる限り番号で指定してください</u>。 スロットの番号は「1」「2」で指定しますが、ご使用のコンピュータが異なる表記 を用いている場合もあります。一般的には「0」「1」で表記されている場合は「0」 「1」、「1」「2」、「上」「下」で表記されている場合は「上」「2」、「下」 「1」と置き換えればよいようですが、機種によっては逆の場合もありますので、必 ずコンピュータのマニュアルでご確認ください。

<sup>+</sup> 本ドライバーには、PCMCIA.SYSを使用せず、直接PCMCIAコントローラ(PCIC)を制御して本製品を活性化する機能であるDirect Enablerが組み込まれています。Direct Enablerは、本製品を活性化するためにPCIC Base Address を使用します。大抵のコンピュータのPCIC Base Address は「PCMCIA Release2.1 規格」の推奨値である「3E0h」となっています。しかしながら、推奨値ではないコンピュータも存在し、これらのコンピュータではDirect Enabler にコンピュータが使用している PCIC Base Address の値を設定してやらなければなりません。

15. 「バインド」をクリックしてください。

助^のコンポーネントを組み込まな 50、。組み込むときは、このダイア 01を選んでネットワーク アダブタ5 Rしたアイテムをカスタマイズする	い場合には、 0K ボタンをク! ログで アデプタカードの追加まだ またはソフトウェアを追加して ときは 構成)を選んでください	リックしてくた たはIVTMiPのi てください。道 い
ネットワーク ソフトウェア とアダプタ カードーーー		1
組み込まれているネットワーク ソフトウェア[9	Ø:	
CentreCOM LA-PCM V2 Adapter   NetBIOS 17/9-7z12	* ソフトウェアの進加(3)	OK
RFC 構成 TCP/IP 7*0トコル コンピ*1-9 7*929**	アダプタカードの追加[[]	終7
組み込まれている75"アチカ-ド(ム)・	構成( <u>C</u> )	II"17件"(图)
[1] CentreCOM LA-PCM VZ Adapt	更新(1)	211-7-7(N)
	anné ma	C. L. C. Martin

画面 3.15

16. 使用するプロトコルスタックを選択し、「OK」をクリックしてください。プロトコ ルスタックが本製品にバインドされます。

バインドの表示(S):	< すべてのコ)ポーネ)ト >	,	1	
< 上位パインド	<b>-</b>	下位。	インド>	
<ul> <li>NetBIOS 129-3±12</li> <li>♀ NetBIOS 129-3±12</li> </ul>	-> NWLink NotBLOS -> NWLink -> WINS 95(7)+(TCP/IP) -> Cr	IP/USPX A Release antreCOM LA-	PCM V2 A	_
NetBIOS 129-2117     NetBIOS 129-2117     NetBiOS 129-2117     NetBiOS -2     NetBiOS -2     NetBiOS -2     NetBiOS -2     NetBiOS 129-21     NetBioS 129-21	-> NetBEUI 700:0.6 -> Centre Notink IBVSPX 互換が228*- -> NWLink IBVSPX 互換が228*- -> NWLink IBVSPX 互換が228*- -> NWLink IBVSPX 互換が228*- CentreCOM LA-PCM V2 Adapte etBIOS -> NWLink IBVSPX 互換 NVSPX 互換が228*-+	COM LA-PCM ICM V2 Adapte F r Driver -> [1 ISS/AT-F	V2 Adapt er Driver - I CentreCi	Ŧ

画面 3.16 プロトコルの選択

17. 続いてソフトウェアの設定を行います。ここではTCP/IPの場合について説明しま す。「TCP/IP プロトコル」を選択し、「構成(C)...」をクリックしてください。

時合には、[IOK]ボタンをク ゲで[ア9 <sup>・</sup> ア9 h-F'の追加]ま、 はソフトウェアを追加し ぎは 構成]を選んでくださ(	リックしてくだ たは[ソフルウェアの通 てください、選 へ
	2
ソプドウェアの追加(S)	OK.
アダプタカードの追加(12)	- 終了
構成( <u>C</u> ))	II"つド(B)
更新(山)	ネットワーク( <u>N</u> )
<b>前御</b> 余(P)	A67(H)
	特合には、IOKIボタンをク アで「アダプタカードの追加はま はンフトウェアを追加し ドは「構成」を選んでください ソフトウェアの追加(S) アダプタカードの追加(P) 構成(C)) 更新(U) (1866(D))

**画面** 3.17 TCP/IP **のカスタマイズ** 

18. TCP/IPの設定を行います。設定内容についてはネットワーク管理者にご確認くだ さい。以下の画面は一例です。設定を終えたら「OK」をクリックしてください。

	TCP/IP の構成			
「アダプタ( <u>A</u> ): [1] CentreCOM LA-PCN	1 V2 Adapter 🛓	ОК		
□ DHCP 自動構成を有効にする(E)	, <u> </u>	キャンセル		
IP アドレス():	150 .087 .028 .110	DNS( <u>N</u> )		
サブネット マスク(山):	255 .255 .255 .0			
デフォルト ゲートウェイ(①): ブライマリ WINS サーバー(型): セカンダリ WINS サーバー(S):	150       .087       .028       .032         .       .       .       .         .       .       .       .	<u>^⊮プ(H)</u>		
L デフォルト ゲートウェイはリモート送信先に TCP/IPトラフィックを送信します。ネットワーク管 理者はローカル ゲートウェイの IP アドレスを提供する必要があります。				

画面 3.18 TCP/IP の構成(起動時)

]	DNS の構成	
ホスト名(N): 10cc	ドメイン名①:	10cc.allied=telesis.co.jp
「ドメイン ネーム サービス (	DNS) の検索順序( <u>S</u> )	顺庆
· · · ·	道加( <u>A</u> ) -> 150.87.24. (- 削除( <u>B</u> )	1 16 1
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	[順序(0)	顺后
	道加么 -> tw.allied-teles	elesis.co.jp
<u>[OK]</u>	++>\tell ^	₩7 <u>(H)</u>
このダイアログ ボックスの します。	DNS ネットワークの構成を反明	央するには、[OK]をクリック



# 745x0): #779x8 7250g2: *779x8 7250g2: *77e84 が-47e40g2 (正)	u <sub>(5)</sub> → 150. Hitego u <sub>(5)</sub> → 150.	87,28,110 87,28,32	255.255.251	5.0
がなが 723(g) がなが 723(g) に がわりゃ(g) さ に	<u>85) -&gt;</u> 150.	97.28,32		
17 HH 1200	+#eg) ((5)->	97.28.32		
77alit 9'-19e4@ 🔠	<sub>0.5</sub> ) -> 150.	97.28,32		
· · · · · ·				T
	1-EA/111			(internal
Q-7' DQX		rne weigen in		
wwws 代理スージル小を有効にす	row)		1. N.	
Cherry Constanting				
		1		
OK	46285	167	(E)	

画面 3.20 TCP/IP の詳細設定(画面 3.18 で「詳細」をクリック)

19. 必要に応じて他のネットワークソフトウェアを追加またはカスタマイズし、「終了」 をクリックします。(詳細はネットワーク管理者にご確認ください。)

はかのコンボーネントを絶み込まない さい、紛み込むときは、このダイアロ 加を選んであットワーク アダプタまた 新したアイテムをカスタマイズすると	ワークの2000 第合には、[08]ボタンをク デでアデオ D-Fの追加ま さは「現内を選んでくださ	リックしてくだ たばがわけの通 てください、選 い
「キャリーク ソントウェブ とうデブタ カード 「縮み込まれてい もキャリワーク ソントウェブ [w]);	8	1
CentreCOM LA-TCN V2 Adapter	724912755歳00回31	CK.
	アデブテカードの道加辺し、	展7]
エピンタブラフザ 組み込まれているアデブタカーFIAI:	88.00(_)	的份据。
III CantheCOM LA-PCM V2 Adapter	更新山	中州日-汽払
	####(S)	MJ7(B)
1999(J); [10979-10134-1-945]		1

画面 3.21 ネットワークセットアップの終了

場合によってはここで「ネットワークセットアップの警告」ダイアログが表示されます。 この場合は次のように設定し、手順20へ進みます。

- 1. 「ネットワークセットアップの警告」で「OK」をクリック
- 2. 「ネットワークの誤動作」で「いいえ」をクリック
- 3. 「ドメイン / ワークグループの設定」で参加するドメインまたはワークグルー プを設定し(詳細はシステム管理者にご確認ください)、「OK」をクリック
- 下の画面が表示されたらフロッピーディスクをディスクドライブから取りだし、 「コンピュータの再起動」アイコンをクリックして、再起動します。これで設定内 容が有効化されます。



画面 3.22

## 4 インストール後

### 4.1 リソース値の確認

コンピュータを再起動すると、本製品にリソースが割り当てられ、使用可能な状態となります。Windows NT 診断プログラムでデバイス「LAPCMV2\*」(\*は番号)にインストール時に指定した値が割り当てられていることを確認してください。(ただし、表示されるのは「割り込み / ポート」のみで、「メモリ」には表示されませんのでご了承ください。)

_			割り込	み/ボー	$\mathbf{b}$	
			室山月	<u>ک</u> کر		
				207		
	ベクタ	レベル	関係	デノ	バイス	
	4	4	0×00000	)000 ¥Dev	ice¥Serial0	<b></b>
	6	6	0×00000	1960 Flopp	'Y	
	10	10	0×00720	)000 ¥Dev	ice¥LAPCMV2	21
	12	12	0×FFFFF	rt E ¥Dev	ice#Keyboard	PortU
	共有ディ	スポジショ	ョン―		「割り込み	⊁タイプ―
	未定盖	胡	他的ディ	177 -		の区別
	十右		1007777 544607771=	523		(文力)
	大伯	171	16491 2	171		7A 07
			ボー	- ト		
	物理アト	『レス	長さ	デバイ	イス	
		0×1CE	E Ox	2 ¥Device	¥Video0	+
		0×1 F0	) 0×	8 Akuisk		
		0×300	) 0×2	) ¥Device	¥LAPCMV21	
		0×378	3 0×	3 *Device <sup>3</sup>	¥ParallelPort0	
			0	K		

#### 画面 4.1 割り込み / ポート

#### 4.2 本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき(=PCカードスロットに本製品が挿入されていない、またはネットワークケーブルをメディアケーブルから外している場合など)はドライバーをアンロード(バインドしない)してください。ドライバーがロードされたまま前述のことを行った場合、Windows NTはこれらの現象をネットワークのエラーとして検出し、イベントビューアによる警告が表示されるようになります。この現象はドライバーをアンロードすることによって回避できます。

手順

- (1)「コントロールパネル」「ネットワーク」「ネットワークの設定」「バインド(B)..」と進みます(画面 3.15~3.16 参照)。
- (2) 本製品に関する項目全てについて、左端の電球のマークをクリックして電球が消え ている状態にしてください。

## 5 ドライバーの削除と再インストール

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のとおりです。ただし、 ドライバーを削除しても、本製品にバインドしていたプロトコルやサービスは削除され ません (一部の設定値、例えばTCP/IPにおけるIPアドレスなどは削除されます)。した がって、本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サービスなどを使 用できます。

#### 5.1 **ドライバーの削除**

 「プログラムマネージャ」 「コントロールパネル」 「ネットワーク」とたどっ て行き、「ネットワークの設定」ダイアログを表示します。「組み込まれているアダ プタカード」リストから「CentreCOM LA-PCM V2 Adapter」を選択し、「削除」 をクリックします。

-	- # s	トワークの設定	
J)ビュー作名	1800	変更(空)	
9-97A-T:	WORKBROUP	(変要症)	
+++	17279797+*		1
組み込まれて	1.12440-5 17101712	Ø:	
CentreCOM SoftFUL TO	LA-FCM V2 Adapter I	■ 17月917の追加[5]	OK.
NotBEOS () Notick IPVS	1-75-72 17、正接(う)2ポート	7575カードの進加込	4+3t%
82-3-F177	1122070 to 12141-	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ACFIB.
III Certieco	SM LA-FCM VZ Adapt	within)	\$457-91 <u>N</u> 1;
	$\subset$	30910	N70H

画面 5.1

2. 「はい」をクリックします。



3. 「組み込まれているアダプタカード」から「CentreCOM LA-PCM V2 Adapter」 が消えていることを確認して「OK」をクリックします。

コピュー9名	19CC	(安更) <u>(i)</u> ,	
9-55%-77;	WORKOROUP	(変更定)	
F 2012-0 3710	17と7579カードー	his Decard	1
地方とまれて	(いるお+7-5 V3+7);7( 10	<ul> <li>(1):</li>     &lt;</ul>	08
Notellos - 12 Notellos - 12 Notello Notello	9-76-73 RX 互換が557ポート 1008	7975 b-Fribilital	終了
新た 構成	1.167579.3-1142	Hintigi	IFOFIE
		東新(1)	神生物
		(UP(8)	A6718

**画面** 5.3

「再起動する」をクリックして、(フロッピーディスクが入っている場合は取り出して)コンピュータを再起動します。



画面 5.5

### 5.2 **再インストール**

終了後、再びドライバーのインストールを行う場合はネットワーク(コントロールパネル)を起動し、「アダプタカードの追加..」をクリックしてください。(「3.ドライバーの インストール」の手順10から再開することになります。)

# **第**6部

# Windows NT Ver. 4.0

第6部では、本製品のドライバーをWindows NT Ver. 4.0上 にインストールする手順を説明します。

## 1 準備と確認

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。 各操作・設定の手順については Windows NT のマニュアル・ヘルプをご覧ください。



Windows NT のハードウェア互換性リスト (Windows NT パッケージに同梱されています)に挙げられていないコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任においてご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



NEC PC-9800、PC-9821、PC98-NX にインストールされた Windows NT のもとで本製品をご使用になる場合、NECによって保証されていないインス トール環境でのご使用は、お客様の責任において行ってください。それらの 環境で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせてい ただきますので予めご了承ください。



本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使用するコンピュータ やネットワーク環境によって、手順や表示画面が異なることがあります。予 めご了承ください。



本製品のインストールをWindows NTのインストールと同時に行うことは避けてください。必ず、Windows NT のインストールを完了したあとで、本製品のインストールを行ってください。Windows NT は Plug & Playをサポートしていないため、Windows NT と本製品のインストールを同時に行うと、Windows NTのインストール中に本製品が使用するハードウェアリソースが他のデバイスと重複するおそれがあり、重複の回避に手間取ることがあります。



Windows NTでは活線挿抜(コンピュータの電源を入れたままでカードの抜き挿しを行うこと)はできません。本製品の挿抜を行う際には必ずコン ピュータの電源がOFFになっていることをご確認ください。誤って活線挿抜 を行った場合に起こった障害についてはユーザーサポートの対象外とさせて いただきますので予めご了承ください。

本マニュアルでは Windows NT Ver. 4.0 Workstation を用いて説明します

## 2 ドライバーのインストール

それでは、インストールを始めます。ここでは、「ネットワークアダプター用ドライバー を含むネットワーク環境が全くインストールされていない」場合の<sup>+1</sup>インストール手順 について説明します。また、Windows NTが要求する問い合わせに対して、基本的には デフォルトで答えると仮定しています。

#### 2.1 準備

用意するもの

- 1. LA-PCM-T V2 カード本体・メディアケーブル等
- 2. コンピュータ (Windows NT 4.0 インストール済み)
- 3. Windows NT O CD-ROM
- 4. LA-PCM-T V2 ドライバーディスク<sup>+2</sup>(本製品付属)

#### インストールの前に

- コンピュータの電源をオフにし、本製品をコンピュータのPCカードスロットに挿入します<sup>†3</sup>。
- 2. 本製品をネットワークに接続します<sup>+3</sup>。

† 1「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない
 (D)」を選択したとき、このダイアログが表示されます。

- + 2ドライバーディスクは「AT互換機/PC98-NX用」「PC-9800/9821用」の2種類が用意 されていますので、ご使用のコンピュータに合ったものをご使用ください。また、ド ライバーは常に最新のものをご使用ください。最新のドライバーの入手方法は「付 録S」の「最新ドライバーソフトウェアの入手方法」をご覧ください。
- +3詳細は本マニュアル第2部をご覧ください。

#### 2.2 リソースの確認

#### 2.2.1 概要

Windows NT は Plug & Play をサポートしていないため、本製品が使用するリソース の値をドライバーのインストール時に設定する必要があります。そのため、ドライバー をインストールする前にリソースの空き状況を調べる必要があります<sup>+1</sup>。

本製品のドライバーに組み込まれているリソースの工場出荷時の値(2.2.2項参照)が、 他のデバイスによって既に使用されている場合は重複を避けるため本製品の使用する値 を変更します。(設定はドライバーのインストール時に表示される設定ダイアログで行い ます。)そのため、ドライバーをインストールする前に値が重複していないかを確認し、 重複している場合は空いている値を調べてください。

リソースの状況を調べるには、コンピュータメーカーで予め定めてあるデバイスについてはコンピュータのマニュアルをご覧ください。また、本製品を含む拡張デバイスが追加されているコンピュータについては「Windows NT診断プログラム」(2.2.3項参照)を使用するとそれらの拡張デバイスを含む、リソースの割り当て状況を確認できます。

#### 2.2.2 **リソースの値**

工場出荷時の値および設定可能な値の範囲は以下の通りです。

```
I/O ベースアドレス
```

初期設定値 0x300

他の設定可能値 0x200、0x220、0x240、0x260、0x280、0x2A0、0x2C0、0x2E0、 0x300、0x320、0x340、0x360、0x380、0x3A0、0x3C0、0x3E0

IRQ (AT 互換機 /PC98-NX) 初期設定値 10(A) 他の設定可能値 3, 4, 5, 7, 9, 10(A), 11(B), 15(F)

IRQ ( PC-9800/PC-9821 ) 初期設定値 5 他の設定可能値 3, 5, 6, 10(A), 12(C)

> †1コンピュータに予め組み込まれているデバイスの中には「Windows NT診断プログ ラム」上に表示されないものがありますので、必ずコンピュータのマニュアルと 「Windows NT診断プログラム」の2つを用いて確認を行ってください。

### 2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方法

注:ここではAT互換機の例を用いて説明します。

1. 「スタート」 「プログラム」 「管理ツール」 「Windows NT 診断プログラム」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を起動します。



画面 2.1 Windows NT 診断プログラムの起動

「リソース」タブを選択します。この段階では「IRQ」(インタラプト)の画面が表示されています。IRQの空き状況を確認してください。

		HAL 97	-2老#	NO DE
190 04 06 12 14 15	97442 6042prt Savial Floopy 18042prt 41api atapi			推調 SA SA SA SA SA SA
	oon to the l	num I miso	1.0	21-13-ma

**画面**2.2 リソースの表示(IRQ)

3. 「I/O ポート」タブを選択し、I/O Base Address (「アドレス」の先頭値)の空き 状況を確認してください。

75/22 9/11/3 060 - 0060 80042prt 054 - 0054 80042prt 1170 - 0177 stepi	0 SA 0 SA 0 SA
060 - 0060 i8042p+t 1354 - 1354 i8342p+t 1170 - 1177 stepi	0 SA 0 ISA
1054 - 1054 - 20042pv1 1170 - 11177 - stepi	0 ISA
170 - 1177 shepr	
The second	0 54
ICE - NUF VERSION	0 101
11PD - UPP anapt	0 54
	0 801
BOB - DBDF VersCeres	0 801
DOS = 0005 Falles	0 内部
BCE - DCE Falles	0 1525
DD4 - DD4 FaVes	0 内相
305 - 1305 FaVes	0 内部
3FD - GFS Floppy	0 ISA
	A
3F7 - 3F7 Floppy	0 ISA
3F7 - 13F7 Floppy 3F8 - 53FE Serial	0 ISA
9F7-19F7 Floppy 19F8-03FE Savial	0 ISA 0 ISA
300 - 300 Paves 3FD - 3F5 Ploppy	0 54

画面 2.3 リソースの表示 (I/O Base Address)

4. 「メモリ」タブを選択します。同様に空き状況を確認してください。

and could be hill to	477 (11) (17)	2 97-2 環境 HAL 97-23	ネットワーク] (含める)トク F
7Fb2 97(4) 000A0000 - 0008FF_ VgsSa	A	1/2 0	·····································

画面 2.4 メモリ

5. Windows NT 診断プログラムを終了します。

## 3 ドライバーのインストール

(1)「スタート」「設定」「コントロールパネル」と進み、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。



画面 3.1 「ネットワーク」(コントロールパネル)

(2) 下のダイアログが表示されます<sup>†1</sup>。「今すぐインストールしますか?」の問いに対して、「はい(Y)」をクリックしてください。

キットワー	-7の構成 >
A	Windows NT キットワークがインストールされていません。
	今すぐインストールしますか?
	(11)00 UUS200

画面 4.2

 † 1「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない(D)」を選択したとき、このダイアログが表示されます。このダイアログではなく「ネットワーク」パネルが表示された場合は、既にネットワークに関するWindowsNT 6-7 ファイルがインストールされています。この場合は「ネットワーク」パネルの「ア ダプタ」タブ 「追加」と進むと、手順(4)の画面 3.4 が表示され、本製品のみのイン ストールが始まります。

(3)「ネットワークセットアップウィザード」ダイアログが表示されます。「ネットワークに接続(W):」にチェックマークを付け、「次へ(N)>」をクリックしてください。





(4) 画面 3.4 が表示されたら、「一覧から選択 (S)…」をクリックしてください。

Ener.	(秋泉開始) ぎちっけするとれゃうークフリンから秋草が開発します。
L.B	####M/ID
all	4+17-9 P\$77840
~	125 C 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
Caller	
130	
	- \$15-2.00201

画面 3.4

(5) 「ディスク使用」をクリックしてください。



画面 3.5

(6) 下のダイアログが表示されますので、ドライバーディスクをディスクドライブに挿入し、パス「A:¥windows.nt¥40」を入力し、「OK」をクリックしてください。(ここでは、フロッピーディスクドライブをA:と仮定します。)





(7) 「CentreCOM LA-PCM V2 Adapter」を選択し、「OK」をクリックしてください。

OEM オプションの選択
ハートウェア製造元のティスケでサホートされている ソフトウェア を選択してください。
CentreCOM LA-PCM V2 Adapter
OK ት፥ንቲル ^ルブ( <u>H</u> )

画面 3.7

 (8) 「ネットワークアダプタ (A):」の「CentreCOM LA-PCM V2 Adapter」にチェッ クマークを付け、「次へ (N):」をクリックしてください。

ネットワーク セットア・	2 <b>7 ウィサ<sup>-</sup>ート</b> [88:常報64] セガックナちとキックーラ 797 %の根本社研究にます。
	検索開始(2) 2x(0~575738g)。 M BECentreCOM LA-POM V2 Adapter
	- 307-50895- (#5g) 25%50 44/96

画面 3.8

(9) 使用するネットワークプロトコルにチェックマークを付け、「次へ (N):」をクリックしてください。(詳細はシステム管理者にご相談ください。)ここでは、「TCP/IPプロトコル」のみをチェックすると仮定します。





(10) 使用するサービスを設定し、「次へ (N)>」をクリックしてください。お客様のネットワークでどのようなサービスが使用されているかは、システム管理者にご相談ください。



画面 3.10

(11) メッセージを確認して、「次へ (N)>」をクリックしてください。



画面 3.11

6-10

 (12) Windows NTのインストール元のディレクトリを指定してください。AT互換機/ NEC PC98-NXの場合は「I386」、NEC PC-9800/PC-9821の場合は「PC98」と なります。(ここでは CD-ROM のドライブ名を E:と仮定します。)

Windo	ws NT セットアップ	$\times$
ø	しくつかの Westows NT ファイルを主 <sup>、</sup> 学る必要が取ります。 たったブュ゙」かの場所でファイルを推動します。(注かの場所を推 発きたた)、場合は、新し、場所を入力し、(時代 を59%)していた 洗し	時行 和2個
	Exam	



(13) 続いて本製品の設定画面が表示されます。

「IRQ」(インタラプト)と「IOBaseAddress」(I/Oベースアドレス)に他のデバ イスを重複しない適切な数値を入力し、「OK」をクリックしてください。

RQ :	A	٠
O Base Address :	300	•
O K Can	el	HELP

画面 3.13

(14) ドライバーおよびWindowsファイルのコピーが始まります。手順(9)で「TCP/IP」
 を選択した場合はここで「DHCPを使用するか?」を質問されます。ここでは、デフォルトである「いいえ (N)」をクリックすると仮定します。



画面 3.14

 (15) (14)で「DHCPを使用しない」設定とした場合は「TCP/IPのプロパティ」として IPアドレスなどの値を設定しなければなりません。下に入力例を示します。これ らの値は、お客様の環境における値を入力してください。

Microsoft TCF	P/IP	のプ	nn'	<del>7</del> 1	? ×
P 71-52 DNS WINS	71/12	8-70	1		2000 A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.A.
DHCP デーバーから IP」 に割り当てることができ わりクーク管理制に行い てください	件1/2周 佳士。社 28個月	利し、	このキッ 5 DHOI 5, その	17-9 79 9-8-8-9 74222	79カードに自動的 物品・場合は 下の本ックにこく力し
79798			_		
C DHCP 9-1-17	SIP 71	1.7世間	1975	ø	
P 71530	150	087	028	110	
#373++ 7254_0	255	255	255	0	
77161 75-19210	0. 150	067	025	032	
2. <u> </u>					1848(p).
-	0	ĸ		和胡	atra)

画面 3.15

(16) DNS (Domain Name System) の設定をします。「DNS」のタブをクリックしてく ださい。下に入力例を示します。ここでは、ホスト名として「10cc」を仮定して います。

1945) \$-4 5334 (2008) 13469(5)	19692
1008	Exame and root
150.02.24.1	1-100+
	NSN20
twalled teleriscole	B/v/24+
Mind"Ministra B	T-104
100 1 Million	1 Billion

画面 3.16

(17) 続いて、「WINS (Windows Internet Name Service) アドレス」の設定を行います。下の画面では、「Windows 名前解決に DNS を使う (N)」を仮定しました。

osoft TCP/IP	のプロパ	171	?
12 DNS WHS 7127	1-911		
inslowe ():19-7:16 7-6 9-6 1977912):	"7 (WINS) -	-	
[1] CertraCOM LA-POM VS	Adapter		۲
15/2/ WHS 9-1/-(M)			
21099 WHS #-1/-10			- 1
2 Mindows SEARCHICON 2 Linkcosts & Serither	5 80936) T	MHOSTS 287	HULLER.

画面 3.17

必要であれば、さらに「ルーティング」の設定を行い<sup>†</sup>、最後に「OK」をクリック してください。これらの設定の詳細についてはシステム管理者にご確認ください。

 この画面は Windows NT Workstation のものです。Windows NT Server をご使用の場合 はさらに「DHCP リレー」タブがあります。DHCP リレーについての詳細は Windows NT Server のマニュアルまたはオンラインヘルプをご覧ください。 (18)「次へ (N)」をクリックしてください。



画面 3.18

(19)「次へ (N)」をクリックしてください。

:1-07-09888.主 994主专行141.[第3	T. 1) EMALTOD	54
2 2	とその7-7月10日、1 87手止する141、【第1	と5-07-19 <b>55時、主す。</b> 1974年や3日本(開設)を31-0していり

画面 3.19

(20)「次へ (N)」をクリックしてください。ここでは「ワークグループ (W)」をそのま ま使用すると仮定します。詳細はシステム管理者にご確認ください。

6	14、-35、-55、-712-13)ハイボンジンの加速する2014年20日また 14、-55、-715、-715、-755、-755、-755、-755、-755、	Э <sup>е</sup>
	DC-1800	2
	в <u>9-395-398</u> ; (новозвоця С РИСкра	
	ロ (1代)-17(h)+0 (holig)	

画面 3.20

(21)「完了」をクリックしてください。





(22)「はい(Y)」をクリックし、(フロッピーディスクを取り出して)コンピュータを再 起動してください。



画面 3.22

## 4 インストール後

#### 4.1 リソース値の確認

コンピュータを再起動すると、本製品にリソースが割り当てられ、使用可能な状態とな ります。Windows NT 診断プログラムでデバイス「LAPCMV2」にインストール時に指 定した値が割り当てられていることを確認してください<sup>†</sup>。(ただし、表示されるのは IRQおよびI/Oポート(I/Oベースアドレス)のみです。メモリについては表示されませ んのでご了承ください。)

**画面**4.1 リソースの確認(IRQ)

![](_page_104_Picture_6.jpeg)

画面 4.2 リソースの確認 (I/O Base Address)

+ 「デバイス」タブ 「LAPCMV2」と進むと、本製品に割り当てられたリソースが一 覧表示されます。(ただし、メモリについては表示されません。)

#### 4.2 本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき(=PCカードスロットに本製品が挿入されていない、またはネットワークケーブルをメディアケーブルから外している場合など)はドライバーをアンロードしてください。ドライバーがロードされたまま前述のことを行った場合、Windows NT はこれらの現象をネットワークのエラーとして検出し、イベントビューアによる警告が表示されるようになります。この現象はドライバーをアンロードすることによって回避できます。

- (1) 「コントロールパネル」 「ネットワーク」 「バインド」と進みます。
- (2) 本製品のアイコンを選択し、「無効」ボタンをクリックすると本製品のアイコンが 無効(②)アイコンに変わります。
- (3) 同様の手続きを、本製品にバインドしているプロトコル全てに対して行います。

## 5 ドライバーの削除と再インストール

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のとおりです。ただし、 ドライバーを削除しても、本製品にバインドしていたプロトコルやサービスは削除され ません (一部の設定値、例えばTCP/IPにおけるIPアドレスなどは削除されます)。した がって、本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サービスなどを使 用できます。

#### 5.1 **ドライバーの削除**

- (1)「マイコンピュータ」「コントロールパネル」「ネットワーク」とたどって行き、「ネットワーク」パネルの「アダプタ」タブをクリックしてください。
- (2) 「ネットワークアダプタ (N):」で「CentreCOM LA-PCM V2 Adapter」を選択し、
   「削除 (R)」ボタンをクリックしてください。

647-9789968 ••••••••••	M LA-PON VE A	deter	
idrow.	NURSI	3°10'742).	100 Million
回心地理p SertieDOM LA-F	CHI V2 Adapter		

画面 5.1

(3) 「はい」をクリックし、(フロッピーディスクが入っている場合は取り出して)コン ピュータを再起動します。

![](_page_106_Picture_9.jpeg)

6-18

### 5.2 **再インストール**

終了後、再びドライバーのインストールを行う場合は「ネットワーク(コントロールパネル)を起動し、「アダプタ」タブで「追加..」をクリックしてください。(「3. ドライバーのインストール」の手順10から再開することになります。)
6-20

# **付録**A

# 1 規格仕様

# 1. ハードウェア仕様

カード規格:	PCMCIA Rel. 2.1 / JEIDA Ver. 4.2
ネットワーク:	IEEE 802.3 10BASE-T
	Ethernet Ver. 2.0

# 2. 機械的仕様

外形:	カード	85.6 × 54.0 × 5.0 (mm) Type II
	メディアケーブル	300 (mm) (コネクター部含む)
重量:	40g(カード+メデ	ィアケーブル)

## 3. **電気的仕様**

動作電圧:	DC + 5V ± 5%
消費電流:	55 mA (max)

## 4. 環境条件

 周囲温度:
 0~55 (PCカードの周囲)

 (注:PCカードの周囲温度であって、コンピュータの周囲温度ではありません)

 湿度:
 最大95%(但し、結露なきこと)

## 5. **電気雑音の発生防止**

<b>雑音端子電圧</b> :	VCCI クラス B
雑音電界強度:	VCCI クラス B

## 6. ネットワーク機能

(i)転送速度	10M bps
(ii) RAM バッファ	32K bytes SRAM
(iii) I/Oベースアドレス	0x200, 0x220, 0x240, 0x260, 0x280, 0x2A0,
	0x2C0, 0x2E0, 0x300, 0x320, 0x340, 0x360,
	0x380, 0x3A0, 0x3C0, 0x3E0
(iv) インタラプト(IRQ)	3, 4, 5, 6, 7, 9,10(A),11(B),12(C),15(F)

# 2 10BASE-T インターフェース

本製品付属のメディアケーブルはRJ-45型と呼ばれるモジュラージャックを使用 しています。

図 A.1 に、10BASE-T モジュラージャックの信号線を図示します。



図 A.1 10BASE-T モジュラージャック

(1) TX+ 送信データ(+)
 (2) TX- 送信データ(-)
 (3) RX+ 受信データ(+)
 (4) --- 未使用
 (5) --- 未使用
 (6) RX- 受信データ(-)
 (7) --- 未使用
 (8) --- 未使用

Α

# 3 MAC アドレス

Ethernetに接続される機器は、MACアドレス<sup>†</sup>と呼ばれるアドレスを使って通信を行い ます。MACアドレスは機器 (アダプター) のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の (unique、ユニークな) アドレスです。

MAC アドレスは、下記の 6 バイト (48 ビット)によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。

本製品のMACアドレスは、製品裏面に貼付されているMACアドレスラベルに記入されています(表記は全て16進数)。

00	00	F4	4x	XX	XX
ベンダー ID (*1)			通し番号 (*	2)	

- (\*1) ベンダー ID: LAN ベンダー (LAN 用機器を製造しているメーカー) が IEEE に申 請することにより得られる識別番号。
- (\*2) この番号は、当社が製品の一つ一つに割り当てた通し番号で本製品では42~49から始まる6桁の数値になっています。(この番号はシリアルナンバーとは別の物です。)

A

† MACアドレス(マックアドレスと読みます)は、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスと呼ばれることもあります。また、MACアドレスは、 TCP/IPの環境で使用される IP **アドレス**に関係がありますが、これらは別の物です。

A-4

**付録** S 保証・ユーザーサポート

## 1 保証

本製品に添付されている「永久保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客さま インフォメーション登録カード」に必要事項を記入し、当社「お客さまインフォメーショ ン登録係」までご返送ください。「お客さまインフォメーション登録カード」が返送され ていない場合、修理や障害発生時のユーザーサポートなどを受けられません。

# 2 ユーザーサポート

障害回避などの技術的なサポートを受ける場合は、巻末の「調査依頼書」をプリントア ウトしたものに必要事項を記入し、下記にファクスしてください。できるだけ電話によ る直接の問い合わせは避けてください。FAXによって詳細な情報を送付していただく方 が、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。記入事項 の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」を参照してください。 記入内容の詳細については、「3 調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。 また、問題解決のためにより詳細な情報が必要になった場合に、こちらからお尋ねする こともございますので予めご了承ください。

#### アライドテレシス(株)サポートセンター

Fax: 0120-860-662 年中無休 24 時間受付
 Tel: 0120-860-772 月~金(祝・祭日を除く)

10:00-12:00、13:00-17:00

S

# 3 調査依頼書のご記入にあたって

本依頼書は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を究明するためにご記入いただ くものです。ご提供していただく情報が不十分な場合には、障害の原因を突き止めるこ とに時間がかかり、最悪の場合には障害の解消ができないこともあります。

迅速に障害の解消を行うためにも、また当社の担当者が障害の発生した環境を理解でき るよう、以下の点に従ってご記入ください。

記入用紙に書き切れない場合には、別紙としてプリントアウトなどを添付してください。 なお、都合によりご連絡の遅れることもございますので、予めご了承ください。

ハードウェアとソフトウェア

#### 1. ご使用製品のシリアルナンバー・製品リビジョン

本製品裏面に貼られたラベルに記入されているシリアルナンバー(S/N)、製品レビジョンコード(Rev.)を調査依頼書に記入してください。

(例) S/N 00077000002346 Rev AA

2. ご使用の当社のソフトウェア

当社製ソフトウェアをご使用になっている場合は、そのソフトウェアの種類 / バージョン(Ver.) / シリアルナンバー(S/N)を記入してください。それらは、フロッピーディスクのラベル上に記入されています。

- 3. **ご使用のコンピュータの機種** ご使用になっているコンピュータのメーカー名、機種名
- ご使用の周辺機器(CD-ROM ドライブ、サウンドボード、SCSI ボードなど) 他社製の拡張アダプターやメモリマネージャなどのユーティリティをご使用の場合は それら全てについてご記入ください。
- 5. **ご使用のサーバー、**UNIX **システムの機種、**OS **など** 接続しているサーバーの機種とその環境も可能な限りご記入ください。 (例えば、NetWare 3.12J、NEWS-OS Rel. 4.2R など)

S

## お問い合わせ内容

- \* どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかをできる限 り具体的に(再現できるように)記入してください。
- \* 障害などが発生する場合には、本カードと併用されているユーティリティや、アプ リケーションの処理内容もご記入ください。
- \* AUTOEXEC.BAT、CONFIG.SYS、**バッチファイル**に関しては、そのファイル内容 のプリントアウトを必ず添付してください。
- \* エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの 内容のプリントアウトなどを添付してください。
- \* (Windows95・Windows NT **の場合のみ)**可能な限り、お手数ですが**システムレ ポート**(OSが自動生成するシステムに関するレポート、名称はOSによって異な ります)を出力し、添付下さるようお願いいたします。

#### システムレポートの出力方法

1. Windows95 **の場合** 

- (1) コントロールパネルから「システム」を起動し、「デバイスマネージャ」タブを表示します。
- (2) 「印刷(N)…」ボタンをクリックします。
- (3) 「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要(A)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

2. Windows NT Ver.3.51 の場合

- 「プログラムマネージャ」 「管理ツール」と進み、「Windows NT診断プログラム」アイコ ンをダブルクリックして起動します。
- (2) 「ファイル(F)」メニューの「レポートの印刷(P)…」コマンドを選択します。
- (3) 「レポートオプションの印刷」オプションでは「すべてレポートする(R)」を選択してくださ い。以後、画面の指示にしたがってください。

3. Windows NT Ver.4.0 の場合

- (1) 「スタート」 「プログラム」 「管理ツール(共通)」 「Windows NT診断プログラム」と 進み、「Windows NT診断プログラム」を起動します。
- (2) 「印刷(N)…」ボタンををクリックします。
- (3) 「レポートの作成」が表示されます。各オプションについては、「範囲」は「すべてのタブ(A)」 を、「詳細レベル」は「完全(M)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってくだ さい。

#### 接続の構成図

\* ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図 を添付してください。

S-4

# 4 最新ドライバーソフトウェアの入手方法

当社は、改良などのために予告なく、本製品のドライバーのバージョンアップやパッチ レベルアップを行うことがあります。最新のドライバーソフトウェアは、次の2つの方 法で入手することができます。

# インターネットのホームページからの入手

- Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator などのWeb ブラウザを使用して、アライドテレシスのホームページ「http://www.allied-telesis.co.jp」にアクセスします。
- (2) 「DOWNLOAD」をクリックしてください。
- (3) 以後、画面の指示にしたがってください。

# フロッピーディスクでの入手

当社のカスタマー・マーケティング(TEL. **○○** 0120-860-442、9:00 ~ 17:30 / 月 ~ 金)までお問い合わせください。実費にて最新ドライバーのフロッピーディスクをご提供いたします。

S-5

# 調查依頼書(CentreCOM LA-PCM-T V2 1/2)

			年	月	日
一般事項					
1. 御社名: 部署名: ご連絡先住所: 〒		ご	担当者:		
TEL: ( )	FAX: (	)			
2. 購入先: 購入先担当者:	購入年月日 連絡先(TE	: L): (	)		
	品リビジョン				
S/N	 				
2. <b>ご使用の当社のソフトウェア</b>					
LA-PCM-T V2 ドライバー Ver	pl.				
CentreNET PC/TCP Ver	pl.	S/N			
CentreNET AT-TCP/32 Ver	pl.	S/N			
その他() Ver その他() Ver	pl.	S/N			
その他( ) ver	pi.	3/N			
3. ご使用のコンピュータについて					
メーカ名:	機種名:				
OS: (	) バージョン :(				)
ネットワーク OS:					
(	) バージョン:(				)
4. ご使用の周辺機器について					
CD-ROM ドライブ(					)
サウンドボード(					)
SCSIボード (					)
その他 (					)
5. <b>ご使用のサーバー</b> 、UNIX システムの構	種、OS など				
(					)
					,

# 調查依頼書(CentreCOM LA-PCM-T V2 2/2)

# 年 月 日

お問い合わせ内容	別紙あり	別紙なし
	100100-0	122100 0. 0

セットアップ中に起こっている障害 セットアップ後、運用中に起こっている障害

# 接続の構成図

簡単で結構ですからご記入をお願いします。



PN J613-M0201-00 Rev.B 980203